県民の友

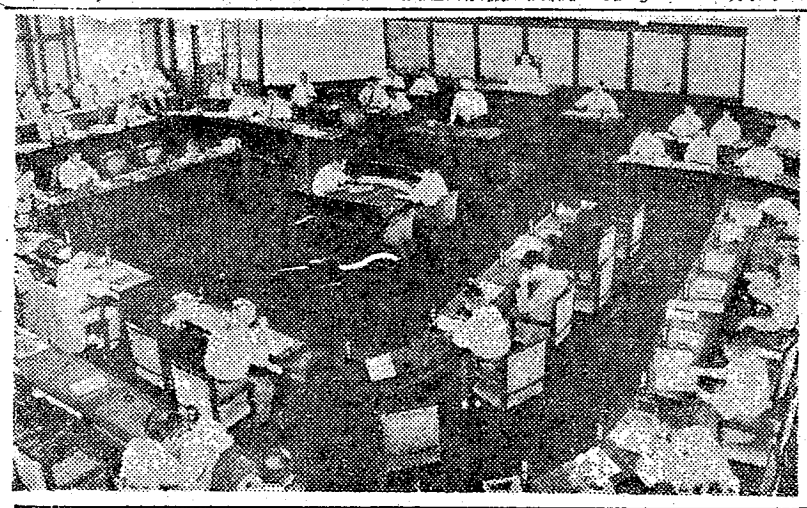
発行所
和歌山市小松原通一丁目
和歌山県企画広報課
編集印刷
発行人　梅北旭
毎月一回一日印刷発行
定価　一部2円50錢

◇生活の建設運動
◇冠婚葬祭の改善
◇貯蓄の励行
◇衣食住の工夫と改善
◇保健衛生の向上
◇たすけあいの実践

六月定例県議会の幕閉じ

追加更正豫算成立

議会に行政刷新委を設置



追加更正予算をはじめ三十六議案を審議する六月定例県議会は六月二十八日午前十時、新たに当選した十三人を含む四十五新議員によって開幕されたが、この日は冒頭に小野知事が土木部の汚職事件について陳謝したのち、議案説明があって散会、議案熟読のため五日間の休会に入った。続いて七月四日から七日まで知事の予算説明に対する一般質問が行われ、活潑な論戦が展開されたのち、全議案を委員会に付記することとなり、八日からの各委員会で慎重に審議。十四日に本会議を開き、各常任委員長の経過報告があって議決に入り、全議案を原案どおり可決、閉会となった。

この議会で可決された議案の主なものは昭和三十年度追加更正予算のほか、観光施設設置奨励条例、県営庭球場設置および管理条例、使用料および手数料条例の一部（授業料など）を改正する条例、部設置に関する条例などである。

なお全会期中を通じて各議員から汚職問題への批判や対策についての意見発表があったが、最終日の十四日、この種事件の絶滅をはかるため、議会運営委員を委員とする行政刷新委員会を設置することを決定した。

一般会計十八億六千万円

本年度の予算は二月県議会で一六五億余円の骨格予算が成立しているので、今回の追加予算はこれに肉付けする意味で編成されたが、極度に緊迫した県の財政事情のため昨年度に比べて相当の減額を余儀なくされ、各課要求総額一八億六千余万円（一般会計）に対して、一般会計八億九千二百五十四万円、特別会計六件二千五百五十七万円を計上するに止った。その主なものは次のとおり。

奥地の耕地復旧を県営で

◇災害復旧公共事業では仕越工事を施工している本県の特殊事情を政府に強く訴え、相当の効果をおさめたが、また国の予算が決定していないため、過年度災害復旧費のうち確定している奥地県営耕地災害復旧費四千七百万円、現年度土木災害復旧費四千七百万円を計上した。

◇災害復旧単独事業は起債申請の関係から土木関係で一億円を計上したほか、小災害耕地復旧費の八百万円など。

◇一般公共事業では水源林造成費三千二百万円、海岸局部改良費一千余万円、河川災害関連事業費二千余万円、桐蔭高校戦災復旧費二千百万円など、国庫補助の内示があったもので当初予算に未計上のものを計上。

結核後保護施設も

◇国庫補助事業では結核対策の一環として回復者のアフターケア施設を建設する結核回復者後保護施設費に一千五百万円、五稜病院に更に五〇床増設するための精神病院費に六百万円を計上、その他町村合併促進費一千二百万円、国民健康保険補助金三千三百万円などがある。

◇県単独事業では果樹振興関係の経費として一千九百余万円道路橋梁事業費一億一千三百万円をはじめ、堤防改修、都市計画、砂防、高校増築、土地改良失業対策、地方改善、観光道路、未点灯地解消、暖地園芸奨励などの経費をそれぞれ計上しており、この他には観光施設設置奨励条例に基ずく助成金八百余万円、昨年度から実施している工場誘致奨励金三千万円、厚生年金積立金還元融資をうけて日赤支部に建設中の病棟建設費の本年度分一千余万円、教職員退職給与金三千二百余万円などがある。

特別会計一千五百万円

県立医大会計では医学進学課程を設けるに必要な実習教室、図書室、レントゲンなどに一千二百余万円、有料道路事業会計では本年度予定事業費として一千百余万円など。

心からお詫びを

―土木部の汚職について―

知事　小野眞次

災害の完全復旧や、幾多の建設的事業を推進すべき重要な第三期県政の冒頭に際し、汚職の問題について、再び県民の皆様に深くお詫び申し上げなければならない事態に立ち至ったことは、誠に申訳なく、遺憾至極に存じます。

職員の汚職事件に関しましては、昨年の県議会において、種々問題となり、議長より強い警告もあり、私は本紙を通じて汚職の追放に努力することをお約束いたしました。爾来今日まで、出納事務局および出納分室の設置による出納制度の整備、監査事務局の強化による監査機構の拡充を図るとともに、職員の素質を向上して明朗な職場を築き上げるべく、四S運動を推進するなど、汚職防止に色々と手段を講じ全力を傾倒してまいりました。

而して今回の事件は、すでに新聞紙上に報ぜられましたとおり、只今司直の手によって糾明されつゝある段階にあり、その内容につきましては未だ是をつまびらかにし得ないのでございますが、今日まで知り得た範囲では、土木部の一職員により、昭和二十五、六年頃から連続的に行われた二千万円に余る犯行が、監査委員および警察本部の努力によってはじめて発見されたということが事件の中心のようでございます。事件の大半は昨年のそれ以前になされたものではありますが、如何に巧妙な手段で隠蔽されていたとは申せ、数年にわたる犯行を早期に察知でき得なかったことは、誠に申訳のない次第で、県民の皆様に多大の御心配をおかけしまして慚愧に堪えないのみならず、幸いにして災害復旧や建設的事業が漸く軌道に乗り、県民一丸となって楽土和歌山県建設に邁進すべき緊要のとき、こうした一部職員の不行跡がたゞちにすべての県職員に対する不信への波及し、善良な多くの職員の折角の努力も一朝にして水泡に帰し、ひいては県政の強力な推進上多表の障害となることを深く憂慮するものでございます。

この機会に私は、県政の最高責任者として自らを鞭うつとともに、事件発生の原因を深く究明し、現に実施している諸種の方法を更に一段と推進することはもちろん、新たなる対策の樹立に目下慎重な研究を進めているものでございますが、議会に設置された行政刷新委員会の意見をも充分聞き、万遺憾なきを期したいと存じております。

ここに今回の事件について、県民の皆様に心からお詫び申し上げますとともに再びこのような過ちを繰り返さないよう全力を上げて努力することを、改めてお誓いするものでございます。

なお、事件の内容は全貌が明かになったとき、関係者の処罰とともに発表いたしたいと存じます。

監査事務局を強化

県では汚職防止対策の一つとして監査事務局を従来の二課制から監査、検査、審査の三課制に強化することとなり、これに伴う人事異動を七月十八日付でつぎのように発令した。

（カッコ内は旧任）

監査課長へ中尾義清（監査第一課長）検査課長へ加藤市郎（監査第二課長）審査課長へ寺前義博（会計課長代理）会計課長代理へ上田力造（人事課長代理）

近く六部制を実施

県機構の簡素化へ第一歩

地方自治法の一部改正に基づいて県では「和歌山県部設置に関する条例」を六月定例県議会に提案、別項のとおり可決されたが、これで従来の一室七部のうち知事公室を総務部へ統合、また農地部と農林部を一つにして農地農林部としたほか、従来農林部の所管であった水産業に関することを経済部の所管とした六部制になった。各部の所管事務はつぎのとおり。

◇総務部　①職員の進退および身分　②議会および県の行政一般　③県の歳入歳出予算、税その他の財務　④市町村その他公共団体の行政一般　⑤移民　⑥統計、広報、条例の立案その他他部の主管に属しない事項

◇民生部　①社会福祉　②社会保障

◇衛生部　①保健衛生　②保健所に関する事項

◇経済部　①商業、工業および水産業　②計量、高圧ガス等の取締りおよび物価の統制　③観光　④労働　⑤競輪その他県営特別事業

◇農地農林部　①農業および林業　②農地の調整、改良等　③開拓および入植

◇土木部　①道路および河川　②都市計画　③住宅および建築　④港湾その他土木に関する事項

なお、これに伴う課の統廃合については、目下県機構改革委員会で検討中である。

観=光=地=に=カ=ン=フ=ル

1石2鳥ねらう観光施設設置奨励條例

観光地百選などで広く全国に名を知られた県内の景勝地を訪れる観光客は、紀勢西線のスピードアップや無煙列車の運転などとともに四季を通じて著しく増加し、従来の設備だけでは不足がちの状況にあるので、県では観光施設の新、増設に奨励金を交付する「観光施設設置奨励条例」を制定、観光行政をより一層推進することになった。

奨励金を交付される施設は、和歌浦、加太、潮岬、勝浦、那智、新宮などの国立公園区域と、大池貴志川、生石高原、煙樹ケ浜、田辺南部海岸、枯木灘などの県立公園区域、その他観光資源の開発に必要と認められる区域内に設置された動植物園、水族館、温泉プール、観光道路、旅館などの施設のうちの不動産で、原則として新設の場合は価格が五千万円以上、増設の場合は二千万円以上のものに奨励金の交付を受けようとする者は、事前に知事に申請書を提出し知事はこれを新たに設ける観光施設審議会の意見を聞いて承認する。

これによって観光設備が増加すれば、さらに観光客を誘致することができ、また県財政にも寄与することになるから観光施設設置奨励条例は一石二鳥の利益をもたらすものとして期待される。

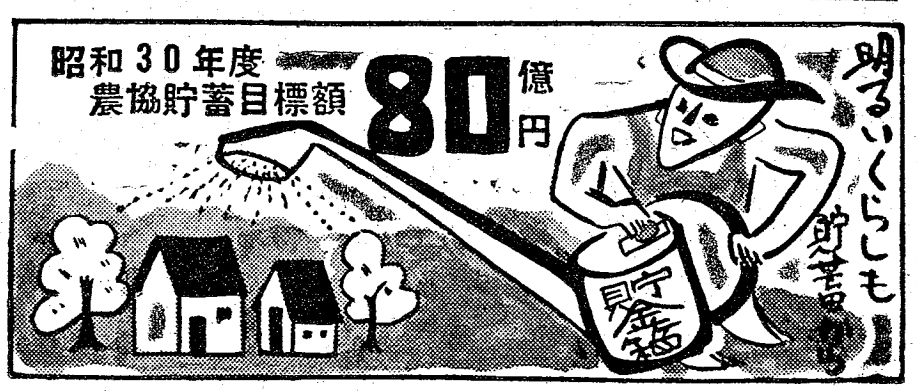
産業開発青年隊今年も結成さる

県では昨年に引続き今年も青年団の協力を得て産業開発青年隊を結成、七月四日有田郡有田町保田中学校講堂で入所式を挙行した。

この青年隊は農家の二、三男対策の一つとして、また災害復旧や総合開発を促進するために導入されるもので、今年は県機械整備所直営の有田川保田堤防の引堤工事に従事するかたわら、夜は学科の授業も行う。

今年の人員は三十四名、うち半数は高校卒業者で年令は十九才から二十四才までで平均年令は二十一才。実働時間は八時間で既に六日から作業を開始している。キャンプは保田中学校々庭に設けられ、夜は七時から九時まで測量、土木施工、建設機械数学の講義が行われている。

産物の県外販売には
県物産販賣斡旋所
を利用しましょう
斡旋所では県物産の紹介・斡旋・販路擴張に務めています
【場所】
東京　商工品部　千代田区丸ノ内1の1　国際観光会館336号室（3階）
　　農産品部　千代田区神田旅籠町三の8
大阪　商工品部　東区北久宝寺町2丁目
　　農産品部　福島区下福島2の9
北海道　札幌市南一条東2丁目（斡旋料無料・詳細は県商工課へ）



受入れ態勢は完全

期待できる難民移民の将來

大橋公室長帰県談

難民救済法の適用をうけた移民の第一陣として、また戦後初の北米集団移民として渡米した本県人四十八名とともに、その引率を兼ねて現地の受入れ状況などを視察中であった大橋知事公室長は、去る七月十三日に帰県したが、本紙の問に答えて現地の状況をつぎのように語った。

―渡米中の日程は

六月十一日の昼頃サンフランシスコへ着いてすぐ移住地のデレノへ行った。十三日からみんなが働きだしたが、私は十五日までみんなの様子を見てから一週間ぐらいカリフォルニア州の各受入予定地を見て廻った。それからマイク正岡氏に会う用件もあったし、大使館で難民移民について打合せたいこともあったので、シカゴ、ニューヨークを経てワシントンへ行き、六月の末にカナダへ渡って漁業移民のことをいろいろお願いし、七月五日シヤトルを経でロサンゼルスへ戻り、またデレノへみんなの様子を見に行ってから九日にサンフランシスコを出発して帰った。

―デレノでの移民の様子は

カリフォルニア州は非常にからっとして気候で、雨は殆んど降らないし朝晩は涼しい。このカリフォルニア州ではデレノが一番暑いといわれているが、私の感じではそれでも和歌山と同じ程度で、朝晩は和歌山程暑くない。移民の仕事は、現在は主にブドー園の作業だが、ブドーがとれた後でも綿、いも、その他の果樹などがあって年中続いて仕事がある。労働そのものもこちらで災害復旧の人夫をやるより楽だといっていた。

―給与などはどんな程度か

一日九時間労働で一時間九五セント、食事が一日一ドル八〇セントでその他に災害保険などを支払うと一日に大体五ドル五〇セント（邦貨一九八〇円）程残る。その半分を渡航費支払いに当てるから、半年足らずで全部払ってしまうことになる。そのあとは一日二千円残るまるまる残るのだから収入はいいと思う。残った金をどうするか、これが一番重要な点だが、みんなにアンケートしてみると家に送るというのが六〇%、貯金するが一三%、家にも送り貯金もするというのが二七%であった。然し成功した一世の人達に聞いてみると、家に送るのもよいが、全部送らずに必ず相当額を貯金して「ためる楽しみ」をおぼえなければいかんといっていた。それで家の方でも余りせびらぬようにしてくれとのことだった。

適當な時期に花嫁を

―労働やキャンプ生活は

労働は一日九時間みっちり働かされる。例えば見渡す限りつづいているブドー畑のうねを一つずつ並んでうけもって、競争して仕事をするようにできているから、働く時間中は全く休息する暇がない。労働のものは大したことはないが、気楽に働くというような気持は全然ゆるされないわけだ。

キャンプはデレノ市の街から数哩離れた所にあるから、夜、街まで映画をみに行くということも簡単にできない。しぜん男ばかりの兵隊生活みたいなものになる。この点も夢の国に遊びに行くような気持で行くとがっかりする。

―移民の将来をどう思うか

みんな真面目な連中だし成功すると思っている。一世の人の話では、ただ一つ心配なのはバクチだそうだ。農園にもバクチで身をもち崩した一世が働いているが、それに染まらないようにとその人たちもいっていた。しかし、七十何才まで独身でいる人たちは、結婚しなかったのもバクチへいった大きな原因らしい。だから、適当な時期に適当な花嫁の世話をすることも、一つの重要な仕事になると思う。みんなに花嫁をどこからもらうかというと、大半が日本からもらうと答えていた。

五年たっては市民権が貰えるから日本から花嫁をよべるわけだ。

もり上った受入れ熱

―難民救済法による移民を今後も受入れてくれるかどうかが問題だが……

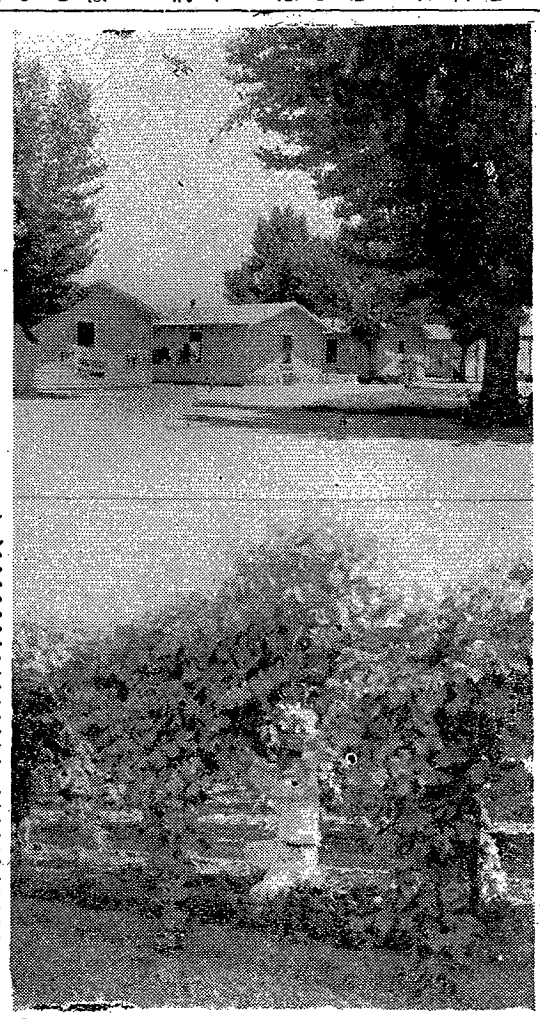
東洋のワクが三千人あるが、このうち入ったのは今の四十八人だけで、残りも来年中に入れなければ法律がなくなるのだからアメリカでも急いでいる。第一陣がついたので向うでも受入れ熱がもり上って、カリフォルニア州だけでも相当多数の受入れができるように、すでに手続も完了している。向うの人たちは半分は是非日本から入れたいといっているが、こちらで難民の条件に合う者がそれだけできるかどうかが問題だ。

―これを機会に難民移民が今後伸展する見通し、あるいは別の形の北米移民の可能性についてはどうか

その両方について向うの市民協会の人たちが努力してくれている。その半分を渡航費支払いに当てるから、半年足らずで全部払ってしまうことになる。そのあとは一日二千円残るまるまる残るのだから収入はいいと思う。残った金をどうするか、これが一番重要な点だが、みんなにアンケートしてみると家に送るというのが六〇%、貯金するが一三%、家にも送り貯金もするというのが二七%であった。然し成功した一世の人達に聞いてみると、家に送るのもよいが、全部送らずに必ず相当額を貯金して「ためる楽しみ」をおぼえなければいかんといっていた。それで家の方でも余りせびらぬようにしてくれとのことだった。

―カナダの漁業移民のその後の状況や今後の可能性について

バンクーバーの近くに本県から行った漁業移民が多い。戦争中資産を没収されたりして痛手を受けたが、今は五トンから十トンくらいの船を持ってサケをとりに行っている。しかし、一人でたくさんの船をもって日本から漁民を呼んでやらせる程の経済力を持つには至っていない。カナダはアメリカよりも東洋からの移民に対する感情は悪く、欧州からは入れているが東洋からは入れていないが、私が行ったのを機会にバンクーバーの県人会や領事館の人たちが、アメリカの難民移民のようにカナダでもみんなで大いに運動して、日本から移民を入れるよう努力してくれることになった。ただ日本にいる二世には、どしどし帰ってもらったらいくらでも使う途はあるということだった。



【写真は（上）デレノのキャンプと（下）ブドー園】

月末までに必ず受配

米の配給・翌月では駄目

県では米の配給を円滑にするために消費者の理解と協力を望んでいるが、最近配給方法の一部が変ったので、特につぎの点に注意を望んでいる。

◇毎月の配給は必ずその月末までに受けること。その月で打切りとなるから翌月になると受配でない。◇その月中に受配できない事情があれば、市町村長の証明をもらい、購入通帳とともに小売販売業者に示して受配すること。但し証明書の有効期限は翌月末まで。◇その月分の配給米の全部または一部を辞退したいときは、なるべく早く小売販売業者に申出ること。

厳粛で簡素に

改善葬儀へ要綱を決定

新生活運動の一つとして生活にまつわる不合理をなくするために、最近特に派手になってきている葬式のあり方を検討し遺族が肉親に死別した悲しみに加えて、無駄な精神的苦痛や、経済的負担による心労を与えることのないようにと、県では七月十六日の結婚改善協議会で「改善葬儀執行基準作成要綱」を決定した。これは、葬式そのものにも地域あるいは宗教宗派によって差異があるので、全県的に同一基準を作ることが困難なため統一してとり上げるべき問題やどの地域でもとりあげなければならない問題をとりまとめたもので、各地域でその実情に応じた具体的な執行基準を作ることを希望している。

同要綱に定められた主な項目はつぎのとおり。

▼葬儀は死者に対する礼を失することのない厳粛なものとし、できるだけ簡素に行う▼葬儀の運営はその地域の申し合わせに従って世話人が行い施主（喪主）は関与しないこと▼しきみ、花環、供物などはすべて定められた範囲内で施主または親戚だけでとどのえ、他のものは金銭を供進する▼葬儀の際の飲酒は、基準で特に定められたもの以外は行わない▼会葬者の手伝人への食事は原則として出さない▼ふぎ（諷経、諷教）を招く場合は定められた範囲内で施主だけが行う▼香奠返しや粗供養などは一切しない▼祭行事その他葬祭に関する行事や儀式も、すべて簡素厳粛に行うよう申し合わせる。

功労者を表彰

第一回県統計大会ひらく

さる七月十八日午前十時から和歌山市城内労働会館で、統計の改善向上および統計思想の普及発達をはかるため、県下郡市町村統計事務職員ら約二百名が参加して県および県統計協会主催の第一回県統計大会が開催された。

この大会は、毎年開かれていた総会に大会を加えておこなわれ国の統計審査委員会長森数樹氏が「使うための統計」を講演し統計はいたずらに数字の羅列であってはならず、その数字をどう利用するかによって生きた統計になると語り、午後四時終了した。

なお、当日協会の小林喜三郎氏（和市友田町二）ほか七二名はじめ、教育統計関係で那賀郡田中中学校ほか三団体、通産省関係で団体二、個人二事業体一〇が統計功労者として表彰をうけた。

生産増強と農家經濟の安定へ

施肥合理化對策きまる

施肥の合理化とは、土壌の性質、気象条件などを考慮して最も適した肥料を適期に適量だけ施すことである。従って作物の種類や品種、栽培する土壌の性質その時の気候などによって肥料の種類や施す分量、施す時期などが違ってくるものである。ところが、最近肥料の種類や形態が種々雑多になって農家がその撰択に迷い、また肥料の出廻りがよくなったために余分に使う傾向がある。特に窒素肥料を使い過ぎて水稲の倒伏や病害虫をはびこらせる原因になり、かえって減収になっている例も少くない。一面、適正な肥料を適当な量だけ買うことによって肥料費の節減をはかり農産物の生産コストを引下げて農家の利潤を大きくすることができる。

こうした考えから、県では本年度から施肥合理化対策をたてこれを強力に推進している。

推進の方法

個々の農家が高い科学智識をもって田畑一枚ごとの土壌の性質をよく知り、作物や天候栽培法などを充分考えて肥料には個々の農家がこれを技術的に解決することは困難である。従って、町村あるいは単位農協の区域内で、農家の技術指導をする人（普及員）肥料の生産や販売に関係する人（農協や肥料商）と町村当局との三者が積極的に協力し、行組合長の外その土地の事情に応じて研究会員、篤農家、学識経験者などを包含した推進機関（市町村施肥合理化対策協議会）を設ける。②この協議会が中心になって部落ごとに作物別に数種の土壌区分に分類する。③この協議会が中心になって部落ごとに作物別に数種の土壌区分に分類する。④これを地区内の農家に普及徹底し、各農家が計画に従って合理的に施肥を行う⑤地方の実情に応じ、部落あるいは町村単位で肥料を共同購入しその地域の土質に適した配合肥料を作ることもできる。

こうしたことを遂行するには常に農家の積極的な協力が必要であり、特に実行組合などの熱意が望まれている。

これにはいろいろの調査や技術が必要であるが、技術関係は普及員が中心になり県及び郡の指導を受ける。

近く42号発表
演劇にのせて送る特集 郷土の觀光
月刊わか山
23万一家に必ず一冊を！
購読御希望の方は和歌山縣庁企画広報課内縣広報協会（振替口座大阪五二〇三五番）または各地方事務所総務課広報係へお申込み下さい。
一部30円〒5円
申込み予約

第五回農業夏期大学近く開設
受講者一般農業者及び農業指導者
受講手続　受講希望者は農業改良普及員か地方事務所経済課に又は直接農業改良課へ8月15日まで申し込むこと

とき　8月18日から20日まで

ところ　伊都郡高野町高野小学校講堂

講師
京都大学教授　農博　桑原正信
農業技術研究所　農博　石倉秀次
農林省東海近畿農試　農博　山崎伝
千葉大学教授　農博　藤井健雄
京都大学教授　農博　松本熊市

蚊とハエ

撲滅へ三年計画

発生源の除去に重点

〝蚊とハエをなくして住みよい郷土に〟という運動は、県で特に大きくとりあげて強力に推進しているが、政府でも今年から三カ年計画で〝蚊とハエのいない生活建設国民運動〟を推進することになり、本県でもこれに呼応して推進要領を定めるとともに、さらに強力に推進することになった。

推進要領の要点はつぎのとおり

▼本年から三カ年計画で全県下の蚊とハエの撲滅を期し、先ず本年は各市町村に一カ所のモデル地区を育成して運動拡大の母体とし、その成果を周囲に波及させる。二年目はモデル地区を町村の半分以上の区域に拡大し、三年目は成果のあがらない地区に集中指導をするとともに運動を県下全域に及ぼし、蚊とハエの完全追放の効果をあげる。

▼従来この種の事業は、ともすれば衛生関係機関や団体だけの仕事と考えられがちであったが、蚊やハエの発生源をなくするためにあらゆる関係部門と緊密な協力態勢を整え、総合的な効果のある駆除を実施する。

▼従来の薬剤のみによる駆除方法を改め、発生源を除く科学的、合理的な環境的駆除を主体に、薬剤を併用する方法をとり、特に越冬昆虫の駆除を徹底的に実施して経費の節約をはかる。

この運動の実施責任は市町村にあり、活動の主体は住民であるという運動の本旨に従って、各市町村では関係機関や各種団体との協力態勢を確立するとともに、それぞれ実情に応じた計画をたて、効果ある活動が展開されるわけ。本紙前号でも紹介したとおり県下で約四十カ町村が蚊とハエの駆除に成功しているが、この輝かしい成果は地区住民の組織的な協力とたゆまざる努力によって始めて成しとげられたものであって、この運動を成功させるために県民一人々々が地域社会における責任を自覚して、協力し努力することが最も望まれるゆえんである。

活発な意見発表

身体障害者福祉大会　盛会裡に終る

身体障害者の福祉増進と自立更生を励まし援護するための和歌山県身体障害者福祉大会は、県主催、県社会福祉協議会、日赤和歌山支部および鉄道互済会の協賛で、七月二十三日は和歌山市城内県労働会館、同二十四日は御坊市御坊小学校で開催された。知事、県議会議長、地元市長をはじめとして参加者はそれぞれ約五百名を数え盛会裡に終了した。

大会のはじめ小野知事は「身体障害者福祉法ができてから今年で五年目、国の施策がだんだん充実されつゝあるが、身体障害者の自立更生には精神的、経済的、医学的、職業的な面など全ゆる施策を総合的に行わなければ成果はあがらない。県としてはこの成果を期して独自の施策を構じているが財政難で意のまゝにならないのが現状である。国民の世論によって国の施策を充実していかねばならないが、皆さま方も更生意欲を強くし、常に努力していただきたい」と挨拶し、来賓祝辞のゝちライトハウス岩橋英行氏の記念講演。

あるべきか」について活発な意見発表があり、最後に地元障害者団体の余興があって幕をとじた。

なお、当日表彰を受けた方々はつぎのとおり。

▼援護功労者　奥垣政信（和歌山）仲岡晃（那、安楽川）

▼自立更生者　小松晟（和歌山）小坂常子（海南）沼野富子（御坊）清水太吉（田辺）松村常吉（新宮）秋山繁太郎（橋本）前田千代子（海紀伊）溝口芳一（那、那賀）北岡信一（伊、高野村）中村喜八（同上）松宮貞治郎（有湯浅）滝野岩市（西、田並）小山武治（日、龍神）高野直春（東、大地）

▼身体障害者雇傭優良事業者　紀伊鉄工株式会社（和歌山）川端洋服店（同）浜崎蒲鉾店（御坊）金清鉛工業（田辺）

国土建設週間　晴れの表彰

水防功労者と優良土木手

建設大臣から表彰された水防功労者に対する表彰状の伝達式と昭和二十九年度優良土木手の表彰式は、国土建設週間中の七月十三日県庁正庁で行われた。この日受賞の栄誉を受けた団体及び個人は次の通りであるが、一昨年の七・一八水害当日県道矢櫃―賀島間軍場線の防災工事に挺身作業中、強風に吹き飛ばされて不幸にも殉職された賀柳房三氏にかわり、伝達を受けた烈士遺族の姿が人目をひいた。

◇水防功労者◇

有田郡有田町、黒柳房三▼那賀郡粉河町、森本繁広▼旧有田郡賀島町水防団（以上遺族）

◇優良土木手◇

山本久五郎（和歌山）上野岩之助（岩出）田中重衛門・中谷喜之助（橋本）西上光一・庄司一太郎（湯浅）山根木竹市（御坊）野田友一（田辺）矢熊正男（串本）横地瞳男・前久保武（新宮）以上知事表彰

【写真は表彰状を受ける賀柳未亡人】

自動車ナンバープレートを取替え

本年三月二十七日付の運輸省令で自動車（小型二輪車、軽自動車を含む）のナンバー・プレートの様式が変更されたので陸運事務所ではつぎの日程で出張取替えをする。自動車所有者は自動車検査証及び印鑑持参の上なるべく午前中に取替場所へ集ること。なお取替えの申請書は各地の自家用組合にある。

日程つぎのとおり（地区、日時場所の順）

▼すさみ、八月一日十二時から埋立地▼勝浦、三日九時から駅前埋立地▼新宮、四日九時から五日十二時まで自動車運転試験場▼本宮、六日九時から警察署前▼御坊、十日十時から十二日まで美浜町吉原の松原▼南部十三日九時から南部中学校▼田辺十六日十二時から十八日まで紀伊田辺自動車営業所▼賀島二十日九時から賀島駅前▼湯浅二十一日九時から専売公社用地▼金屋、二十二日九時から二十四日まで佐々木製材所前▼高野二十七日十二時から金剛峯寺前庭▼橋本、二十八日九時から三十日まで橋本市東家和歌山運送車庫▼粉河、三十一日九時から九月一日まで粉河バス停留所前▼海南、九月十二日九時から十四日まで温山荘駐車場▼和歌山九月十九日九時から二十四日まで本町公園。

お国自慢①

寺成道・古刹

〈雲居の姫の悩みをば
帝叡聞まし聞まして
日高に寺を建て給う
道成寺とは名をつきて…

絵巻から能、能から歌舞伎、浄瑠璃へ、更には上方唄や江戸長唄の踊や所作事に、道成寺芸術の本山として、千三百五十年の間火災をまぬがれてきた全国屈指の古刹、道成寺の名はあまりにも有名だ。

道成寺といえば、すぐに安珍清姫を連想するほど、この悲恋物語が古くから知られているが、この寺の建立縁起は安珍清姫よりも二百三十年の昔にさかのぼる。この地に住む草鹿の娘宮子姫が一条の黒髪の力によって文部天皇の中宮となり、道成寺を建立したという伝説がそれで、この寺には①宮子姫髪長譚、②安珍清姫、③娘道成寺と女性にまつわる不思議な連鎖物語があり、ともに多くの参詣人の耳をそば立たせている。

更に道成寺は、奈良朝から平安時代の建造物や美術工芸など、十指に余る国宝や重要文化財をもつ、紀州随一の博物館的な存在でもあり、殊に巨大な千手観世音の本尊仏は、日本第二の歴史をもつものとして有名、毎年四月二十七日の会式には全国各地から参詣する善男善女が十万に達するといわれ、その賑わいは大変なものである。

諸人の花に謝ずや道成寺
―虚子

句に歌に名高い道成寺の四季は、実に日高郡のほこるお国自慢の随一である

【日高地方事務所】

母子家庭を明るく

就職あっ旋など・今年の事業計画

母子家庭の生活実態調査と職業をもつ母親の実態調査

経済的に、精神的にどんな生活水準にあるかを知るため、母子家庭全世帯を調査して現在集計中であり、職業をもつ母子家庭の母親についても、その経済状況や子供の保育状況などについて、面接によって調査を実施する。

母子家庭の就職希望状況調査

昨年の母子家庭を明るくする運動以来、母子家庭に対する求人がようやく増加しつゝあるが、この受入態勢をさらに整えるため、現在職を求める母親たちの希望職種、特技について調査する。さしあたって和歌山市から開始したが、本年度卒業の母子家庭の子供についての調査は近く全県的に実施する予定。

就職あっせん懇談会

前に述べた調査をもとにして、一人でも多く職業に就けるよう雇傭者側の協力を求める。

母子相談嘱託員の活動強化

母子家庭の相談役として、母子相談員の他に県下に二百名余の母子相談嘱託員を設置しているが、母子心中等の悲運を招かなく、母と子の共団指導をすることによって母子の福祉をさらにたかめる。そのため、県下の婦人の児童委員に対して七月末に三日間、高野山で講習会を開くなど、母子の共団指導をすることにたかめる。そのため、県下の婦人の児童委員に対して七月末に三日間、高野山で講習会を開くなど、母子の共団指導をすることによって母子の福祉をさらにたかめる。そのため、県下の婦人の児童委員に対して七月末に三日間、高野山で講習会を開く

たすけあい運動

新生活運動の一環であるこの運動をさらに徹底して、貧しい母子家庭に理解と協力の手をさしのべてもらうべく、一般社会人によびかける。

以上の他母子福祉資金の貸付、母子相談員による相談業務、婦人福祉司による集団指導などを実施中で、さらに県民のみなさんの一層の御協力をお願いするものである。

母子家庭作品展示即売会

経済的に自立しようとする意欲をたかめ、社会の理解と協力を得るため母子家庭における各種の製作品を展示即売する。

母子家庭芸能コンクール

民生委員は、全部児童委員を兼ねているが、その活動をおしひろめて問題児の扱いだけではなく、母と子の共団指導をすることによって母子の福祉をさらにたかめる。そのため、県下の婦人の児童委員に対して七月末に三日間、高野山で講習会を開く

児童委員の活動強化

民生委員は、全部児童委員を兼ねているが、その活動をおしひろめて問題児の扱いだけではなく、母と子の共団指導をすることによって母子の福祉をさらにたかめる。そのため、県下の婦人の児童委員に対して七月末に三日間、高野山で講習会を開く

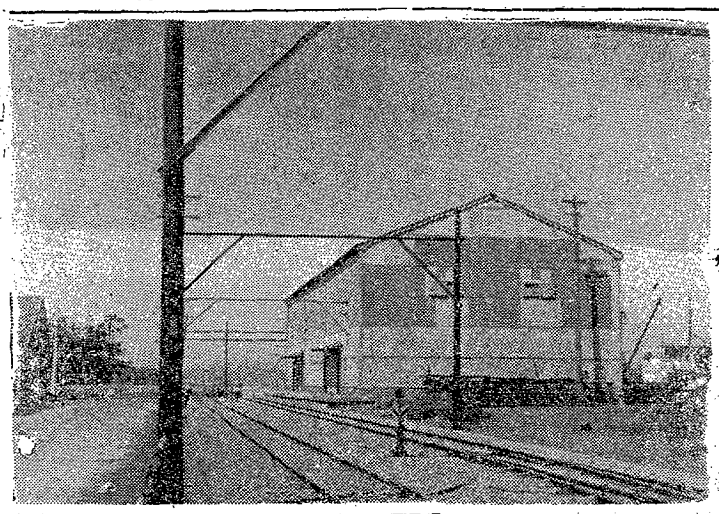
今年は多発の傾向
日本脳炎
蚊の退治　予防注射　疲労防止　帽子着用

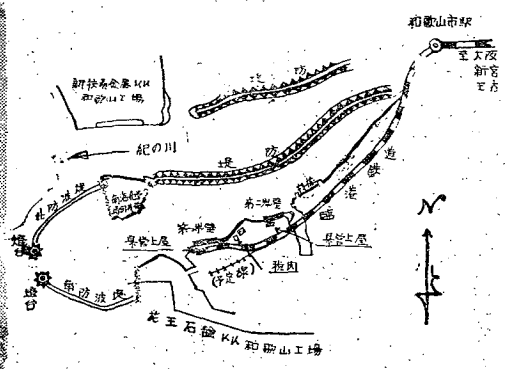
みかんと柿の
最後の摘果を!!
摘果の効果は　隔年結果の防止　商品価値の向上　生産品の向上
方法　みかんは1立方尺に1個　柿は1結果枝に1―2個を残して他は摘果しましょう
時期　8月10日頃まで

市内版

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見栄 すてて明るい衣食住

躍進する和歌山港
臨港線十月に開通
紀阿連絡 五〇〇トンが就航





県の海の玄関、和歌山港は港湾法による重要港に指定され着々と整備を続けているが、はやくから建設が熱望されていた市駅と和歌山港をつなぐ臨港鉄道は九月一日いよいよ完成、十月に開通の見とおしとなった。

この鉄道新設によって輸送力が増大し、港のしゅんせつ（浚渫）で四〇〇〇トン級の船も入り、また、四国との定期船も就航、県最大の海の門戸和歌山港が一大躍進することへとなった。

これは和歌山市に阪和、和歌山線、南海電鉄などが集っていながら、これら鉄道網と港はなんの連絡もなく、折角の港湾施設も充分利用できない現状で、以前から臨港鉄道の必要が唱えられており、県では昨年までは三千トン級だったが今年になって四千トンの船が入った。また、月平均入港船は千隻をこえ、レンガ、石材、木材、カワラ、セメント、コークス、石炭、肥料、鉱石などが入り、建具など未製品、パイプなど、鋼管類を積出し、年間出入貨物量は百二十万トンに達している。

市内総べての駅の貨物発着量は四〇万トンだから、三倍の貨物が扱われているわけだ。

しかし、一万トン級の外国船を入れようと思えば、現在の水深六・四メートルを九メートルに堀り下げねばならないが、まず

【臨港鉄道の終着点附近。建物は県営上屋】

四国へ二時間余り

当面の目的は四国とを強く結ぶことだ。いまのところ年間三、四千人が不定期な機帆船で徳島と交通しているが、十月を期して南海観光汽船が建設中の五〇〇トン級の新造船二隻で一日二往復の定期航路を四国の優秀港小松島と二時間余りで結ばれる。

このため、第一岸壁から外へ向って市二万の岸壁を五十万突出す計画だが、さらに大きなン数の船のためのばすこととなろう。

第二岸壁は小型船舶用とし、また、築地三丁目一六丁目まで旅客用引込み線五〇〇万を計画している。

設備十分の大阪、神戸、小松島また遠く関東、北海道などの諸港と大型船で交通できると輸送力の増えることはもちろん、運賃が陸上にくらべてうんと安くなる。

和歌山と四国を結ぶ紀阿連絡船の重要性は、輸送時間の短縮によって四国の資源開発に大きく貢献し、肥料の大量移入と廉価で県下の農業改良が進むことによって十分知ることができる。

こころみに大阪からの所要時間をみよう。（カッコ内は航路キ数）

◇天保山―小松島―七時間（一二六）◇難波―深日―小松島―五時間四五分（八三）◇難波―和歌山―小松島―四時間（五五）

となり、特に深日港は一〇〇トン級の船だから海が少し荒れると欠航の現状で、その点からでも和歌山港への期待は大きい。

橋本南海市駅長は

四国からの観光客をうんと引き寄せ、観光和歌山のすばらしさを紹介できそうれしい。国鉄その他背後鉄道と協調して、一車でも多く貨車を廻し輸送に万善を期したい。

と語っているが、観光面はいわずもがな消費県和歌山への米の輸送、木材や肥料の運輸に、臨港鉄道と港の設備完成が「建設和歌山」の道を大きく開くだろうと期待されている。

一日から七日間
住宅対策資料の調査

建設省では住宅対策の基礎的な資料とするため、八月一日現在の住宅事情を調査することになった。これは全国の都市から一五一市、郡部から一五九町村を選び、住宅以外の建物に住んでいるもの、同居世帯、大家族が狭い家に住んでいるもの、老朽して危険な家に住んでいるものなど、住宅に困っている理由を調査するもので、本県では都市で和歌山市、郡部で直川村ほか五カ町村が指定された。

調査の方法は抽出法によって調査区を選定し、八月一日から十日間にわたり調査員が各家庭に出向いて調査することになっており、さらに和歌山市では十五日から五日間、老朽住宅の実態をも調べる予定で、市民各位の御協力を希望している。

貧しい患者に愛の手
医大看護婦さんがナイチンゲール金庫

県立医大附属病院の看護婦さんたちの約百名は、入院患者の中でとくに貧困な人々を少しでも救済しようと五月中旬のナイチンゲール週間にちなんで「ナイチンゲール金庫」を設立、毎月十人当り二十円ずつ出しあって基金とし、幸薄い人たちに温い手をさしのべている。

今までにも各看護婦詰所で、受持ち病棟内の気の毒な患者には詰所費を出し合って面倒をみていたが、今年のナイチンゲール週間を機会にこれを大きくし、全看護婦で組織したナイチンゲール金庫を設立したもの。なおこのことが新聞（六月四日付毎日）に報ぜられると、東京、横浜をはじめ静岡、埼玉などの各地から十数通にのぼる激励の手紙や寄附金が送られ、看護婦さんたちを感激させている。

金庫の瑠事長である同病院総看護長の井上タカエさんは、同金庫の設立についてつぎのように語っている。

井上婦長談　できてからまだ間もないことですし、基金も少くて思うようにいかないのですが、入院しても肌着の替替えやふとんまでない人、附添いの家人の食事にも事欠いて、病人の給食を分けて食べているような人がみると、放っておくことはできません。少しでもお助けしたいと思ってこの金庫をはじめ、日用品や貸ふとんなどのお世話をしています。皆さんにもご協力をお願いしていますが、特に遠くの方から激励のお手紙や寄附金をいただき、大変有難く思っています

規則正しい生活を
学童の夏休みに望む

学童たちの海に山に寄々として遊びたわむれる姿は本当にははえましく、頼もしいものです。暑さのために消耗率のひどい夏ではありますが、体を鍛える絶好のシーズンです。

折角の夏休みに子供達が夏負けや夏痩せしないよう、そしてこの期間中によいしつけを身につけて規則正しい生活をするよう、充分に補導しましょう。

◇きょう夏休み中の生活予定表を作り「早起」「早寝」「ラジオ体操」「口すすぎ」「手洗い」などの項目をならべ○×をつけてやりましょう。きっと興味をもって実行するようになります。◇日中外で遊ぶときは、強い日光から守るためにツバのある帽子をかぶらせ◇一番暑い午後二時前後には一時間位午睡をとらせましょう。◇寝るときは腹巻をさせ、寝冷えのしないように◇海に入るときはかならず準備体操をして、一回の海水時間は五分位にしましょう。◇山で泊るときは朝夕の冷えがひどいから、その用意をしていこう。◇アイスキャンデーやアイスクリームなどの冷菓はできるだけ避けましょう。

在ソ同胞に慰問品を！
喜ばれる日本色豊かなもの

ソ連抑留者の第三次帰還者は去る四月十八日興安丸で舞鶴に上陸、なつかしい故国の土をふんだが、これらの人々によって在ソ同胞が心身ともに疲労し体力が低下していると判明した。

ソ連の発表で本県出身抑留者が十四名となっているがまだまだ多くの人がいるものとみられ、在ソ同胞を救出するための国民運動が近く行われ大々的なカンパを起すこととなっている。

県では本県出身ソ連地域抑留者に対し、つぎの要領で慰問品を送ることになり民間団体、県民の協力を求めている。

◇抑留者の収容所郵函番号がわかっておればローマ字で本人の氏名を明記郵送する。

◇日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品を主に選ぶ。例―粉みそ、粉しょう油、鰹節、かん詰、海草類、茶、豆類、飴、せんべい、たばこ、（葉巻二五本、紙巻二〇〇本きざみ一二〇グラム）干魚、防寒下着、手袋品、娯楽品（トランプは不可）禁止品書籍新聞など印刷物、酒類、薬品刃物。

◇長途の輸送に耐えるため、木枠、厚紙箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと。

◇個数に制限なし。1m×20cm×30cmの大きさ、五キロ以内は無料。

◇送る時税関告知書送状を必要とし、小包停配局で無料進呈

民間諸団体、篤志家の寄贈金品の受付は県民生部厚生課、地方事務所民生課、市厚生課、日赤支部で扱う。また個人で送った場合は内容、宛人、送人名を県厚生課へ連絡のこと。

疑問は県市厚生課、地方事務所、郵便局外国郵便小包係へ

新生活のつどい

預貯金の利子免税を記念した貯蓄推進のつどいと、有田町糸我および和歌山市を舞台に作つた新生活運動の普及短篇劇映画「心の晴着」の発表会は、県と貯蓄推進委員会の共催で七月十六日午後一時から市民会館で盛大に開催された。知事代理大橋県公室長の挨拶のあれ、会場を埋めた三千の観衆はあくことなく、ことに「心の晴着」には深く感銘し涙をとじた

と天保伶の司会でマジックシヨウ、貯蓄クイズ、ABC楽団演奏、小笠原美都子の歌謡曲やエンタツの爆笑ショウなど多彩な演芸が繰りひろげら

検察審査会制度 ご存じですか
不起訴処分に不審や不服のある告訴人、告発人、被害者は検察審査会へ審査の申立てをしましょう
社会の不正や横暴を撲滅して明るい郷土をつくりましょう

みんなで防犯　明るい社会
心の晴着
防犯運動
自 7月20日
至 8月31日

海草・海南版

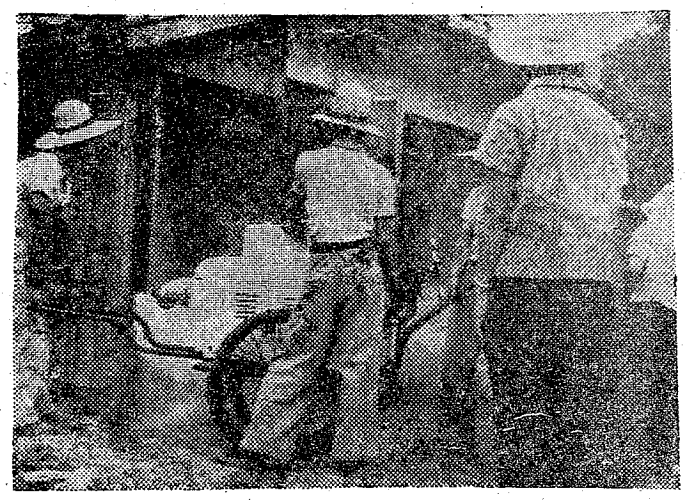
◇衣食住の工夫と改善◇
無駄と見栄 すてて明るい衣食

ハエと蚊
計画的に駆除
活躍する加茂婦人会

県では新生活運動の強調月間として保健衛生の向上をとり上げ健康和歌山をめざして進んでいるが、下津町加茂地区婦人会は「はえ」と「蚊」のいない住みよい町をつくろうと、小松原婦人会長の森ノんさんが中心となつて活躍している。

ハエと蚊を撲滅するにはどうしても皆んなの協力によらねば効果は期待できないと、各自の自覚をうながすことはもちろん、海南保健所や地方事務所厚生課の指導を得て住みよい町へと努力を重ねている。

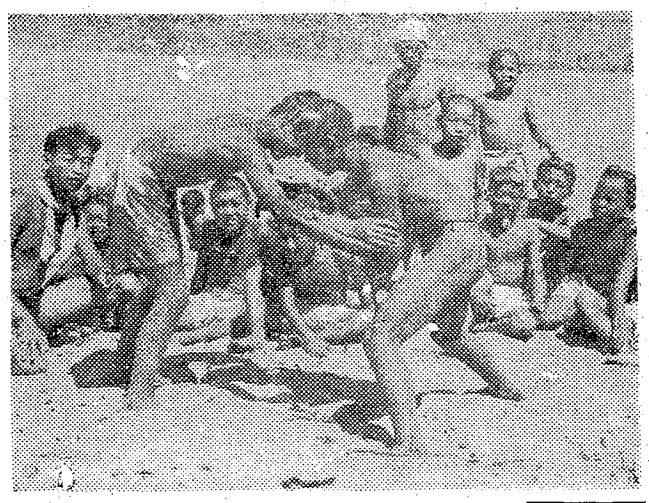
さし当り七月二十日から四日間全地域一せいに大清掃おこなって成果をあげたが、ハエや蚊の生態、駆除方法を一般住民とともに幻燈で研究、区長や青年団の協力で家の広さ、下水の長さ牛鶏などの数をくわしく基礎調査し、定期的に計画性をもって駆除を行い、健康な理想郷実現に精魂を傾けている。



【写真は青年団員とともに駆除に活躍する加茂婦人会員】

卵貯金で生活改善
―海南市みどり友の会―

海南市「みどり友の会」―会長奥小栄さん―は、生活の改善をするため昭和二十六年、会員十六名で結成し、二十七年三月まず台所の改善に乗り出すこととなり、その方法として卵貯金を計画した。これは会員のおのおのが毎日二個の卵を売り、それで得た金を当番が集めて会計で保管、毎月二十七日に会員に分配する。会員は翌二十八日に協同組合に貯金するという工合に三年間貯金を続けてきたが、この春三月には二万円に達した。この二万円に少しばかり足し金をして、便利で衛生的な台所の改善をおこなうことができ、さらに、三万年計画で五万円を目標に貯金を続け、こんどは風呂場、便所の改善に当ろうと主婦連は大いに張切っている。



頑張ります
北米移民 石戸さんから第一便

五月二十八日クリーブランド号で出発した難民救済法によるアメリカ集団移民の第一陣は、はやくも現地デラノで労働に従事しているが、七月五日美里町長谷毛原出身の石戸昇氏からつぎのような第一便が地方事務所にもたらされた。

一行は六月十一日に憧れのデラノに到着しましたが、途中ハワイで県人会の人々から双手を挙げての歓迎を受け、ホノルル市や各地も案内して戴きました。

県人は異口同音に「めでたいめでたい。必ず日本人として恥しくないよう成功してくれ」との激励がありました。久し振りで畳の上に坐り、日本食を御馳走になり、そぞろ郷愁の念を覚えました。デラノは桑港より二五〇マイル南東に離れた所で見渡す限りブドウの大平野で少しトウモロコシやジャガイモ畑があります。翌十二日にはキャンプで大歓迎会を開いて下さいました。キャンプでは大体郡別に起居しております。仕事は今ブドウの葉落し、実の間引きです楽しいですが、暑さには弱ります。しかし葉蔭で働くので涼しいです。食事も大変良く外人の対日感情も良いよう思われます。大いに頑張ります今後一人でも多く移民できるようお願いいたします。

二里ヶ浜で臨海施設
楽しい子どもクラブの夏休み

第二回海草郡子どもクラブ臨海施設は七月二十七日から西脇町二里ケ浜海岸で開かれ八月十六日までの二十一日間、一子供クラブ毎に二泊三日の日程でおこなわれている。

これは共同生活を通じて自主性と社会性を養う機会をあたえ体力をきたえるとともに少年犯罪の誘発原因となっている休暇中の生活を指導するもの昨年第一回目の盛大さと同様に今年も、子どもクラブ員、婦人団体員など約六〇〇名が海水浴、舟遊び、野球、ソフトボールにピチピチとはね廻り、幻燈、テレビ、映画、紙芝居、植物採集など多彩な行事を自主的におこない、特に今年は家事訓練として自炊をおこなっている。

【写真は砂浜で元気に相撲する子どもクラブ員】

超スピードで谷口橋
五反田橋(美里)も完成

美里町の谷口橋は永久橋として完成したが、着工から竣工までの約二カ月という超スピードぶりで地元民の喜びは大きい。

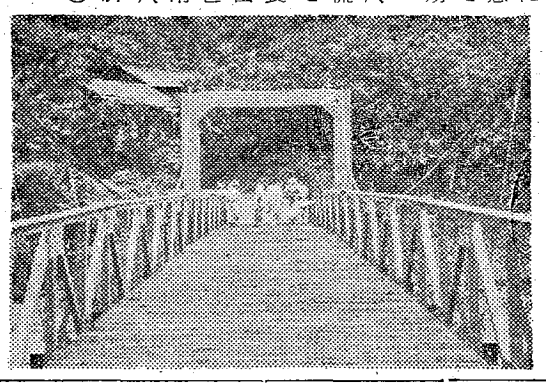
この橋は三〇年度四、五月暫定予算で四月二一日に着工、六月三〇日に完成したもので、美里町長谷の災害林道谷口線と県道を連絡する吊り橋式のもの。

総工費五〇〇万円、長さ六九㍍、巾員三㍍。七・一八水害時の最高水位よりずっと高く橋巾も広くとって設計されている。

この完成によって、地元の交通の便はもちろん、約十万石の林産物の搬出に大きな役割を果すことになるが、雨の多かった四、五月の工事期にも地元民の熱意と協力によって前例のない早期竣工となった。

また、七・一八水害によって流出し、工事中であった美里町長谷毛原の五反田橋は、このほど竣工したが、吊り橋式で長さ八〇㍍、巾員二㍍、総工費五三〇万円である。

【写真は完成した美里町の谷口橋】



災害救助に万全
状況の正確と迅速に重点

くる年ごとに台風や豪雨によって災害を蒙っているが、海草地方事務所では郡内各出先機関と協力し災害救助隊海草支隊を編成、救助の対象として罹災者五三〇〇人、戸数一三〇〇戸を想定し、災害救助法活用計画を関係者が集り協議した。

その結果◇支隊長に地方事務所長、その下に応急救助、連絡情報、輸送、経済、林業、農地、協力、衛生の各部を置く◇退庁後の災害発生の場合は非常参集し各部署につく◇救助活動はなんといっても被害状況を迅速正確につかむことだとして、郡内各町村出身者をそれぞれの町村の報告員とする◇町村分隊に被害状況報告員制を設け最末機関として被害調査員をおき、駐在警察官と密接な連絡をはかる。など救助活動に万全を期している。

新町村に金庫を!
下津で早くも設置計画

町村合併によって急激にふくらんだ町村予算の経理事務を容易にするため、地方事務所総務課では合併町村に金庫設置を呼びかけている。

これは、合併町村の予算が一億円を超す額となり、経理事務もますます複雑になっている上に人員不足の点もあって、経理事務は満足すべき域に達していない町村もあるように見受けられるので、金庫を設置してすべて現金は金庫で取扱うこととし、収支の誤りをなくして決算事務を容易にする一方、町村財政の明朗化をはかるためである。なお、下津町ではこの主旨にそって近く金庫を設置する模様。

人事異動

県では土木出張所を強化するために次長制を設け、これに伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係はつぎのとおり(カッコ内担任)

▼和歌山土木出張所次長へ玉置修吾郎(田辺土木庶務課長)▼同庶務課長へ新林信夫(県林業課)▼海南保健所次長へ日野幸雄(県商工課商務係長)▼西向出納分室長へ山田義夫(海南保健所次長)▼県統計課商工統計係長へ宮本幸吉(和歌山土木庶務課長)

初代町長に向林氏
美里町

六月一日に発足した美里町の町長選挙は、六月の農繁期を見送って七月三日に告示、中西岩市(旧神野村長、六八才)向林久太郎(旧国吉村長、五八才)両候補が一騎打ちの激戦を続けたが七月十三日の選挙の結果向林氏が三〇三九票を獲得して当選、初代町長となった。

なお、当日有権者数は五四八七名、投票率は八八・五七%(男九〇・七四%、女八六・五三%)。

ぞくぞく復旧
野上谷の公共建物

七・一八水害で野上谷一円は甚大な被害を受けたが、先ず復旧した住宅についで被害公共建物も着々復旧、その面目を一新している。

復旧した公共建物はつぎのとおり(カッコ内は建坪)

▼学校関係 北野上小校舎(二三〇坪)小川小学校小野分校々舎、下神野小校舎(一九〇坪)下神野中雨天体操場(九二坪)上神野小校舎(一七五坪)国吉小校舎(一〇二坪)国吉中校舎(一八五坪)長谷小校舎(一一五坪)志賀野小校舎(八二坪)真国小校舎(一七一坪)

▼公民館 野上町(二五二坪、鉄骨)小川(四〇坪)下神野(一一六坪)上神野(三カ所の合計約一〇〇坪)国吉(六八坪)長谷毛原(二カ所計八三坪)細野(二五坪)真国

▼その他 細野村役場、美里町寡婦支所庁舎

規則正しい生活を
学童の夏休みに望む

学童たちの海に山に喜々として遊びたわむれる姿は本当にほほえましく、頼もしいものです。暑さのために消耗率のひどい夏ではありますが、体を鍛える絶好のシーズンです。

折角の夏休みに子供達が夏負けや夏痩せしないよう、そしてこの期間中によいしつけを身につけて規則正しい生活をするよう、充分に補導しましょう。

◇まず夏休み中の生活予定表を作り「早起」「早寝」「ラヂオ体操」「口すすぎ」「手洗い」などの項目をならべ○×をつけてやりましょう。きっと興味をもって実行するようになります。◇日中外で遊ぶときは、強い日光から守るためにツバのある帽子をかぶらせ◇一番暑い午後二時前後には一時間位午睡をとらせましょう。◇寝るときは腹巻をさせ、寝冷えのしないように◇海に入るときはかならず準備体操をして、一回の海水時間は五分位にしましょう。◇山で泊るときは朝夕の冷えがひどいから、その用意をしていこう。◇アイスキャンデーやアイスクリームなどの冷菓はできるだけ避けましょう。

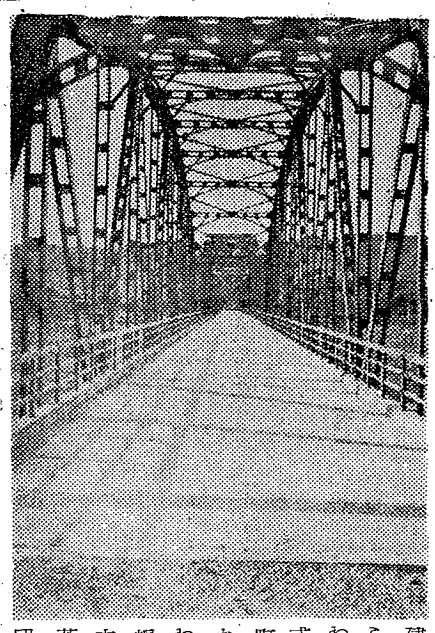
那賀版

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見榮
すてて明るい
衣食住

待望の竣工式

粉河町 重なる喜びに湧く

龍門橋



七・一八水害で流失の憂目をみた龍門橋は昭和二十九年七月から本格的な復旧工事に着手、幾多の困難を乗りこえてこのほど総仕上げを終り七月の空に重厚なグレイの雄姿を現わした。新龍門橋は延長四四二・二㍍、巾員四・五㍍、八〇㌧の鋼材と九二㌧のセメントを費し、一億二千万円の巨費を投じた七連のワーレントラス橋で、着工以来一年一カ月を経て完成したもの。こうして県と地元一体の努力により、再び流されぬ龍門橋が実現したため従来のように災害時の連絡や急援が中断されることもなくなり地元民の交通障害も全く解消され、新粉河町の発展とともにますます産業上の脚光をあびることとなった。

粉河町では七月二十四日、小野知事をはじめ平越県議会議長、建設省河川局長らが出席して行われた渡り初め式に引続き、新町発足の祝賀をかねて二日間にわたり、旗行列提灯行列、演芸大会、餅投げ、花火大会、青年団対抗野球大会消防団結団式、剣道大会など、盛りたくさんな祝賀行事をくりひろげ、全町お祝い気分に湧きかえった。

【写真は竣工した龍門橋】

那賀町長に井關氏

七月一日発足した那賀町では、着々と新町の体勢をととのえているが、初の首長を選ぶ町長選挙に行い、即日開票、激戦のすえ新牛那賀初代町長に元上名手村長井関修一氏(44)が当選した。

が七月十日から開始され二十日にはげしい一騎打だっただけに選挙民の出足はきわめてよく投票率は九四・八五%という好成績だった。

十年の努力結実

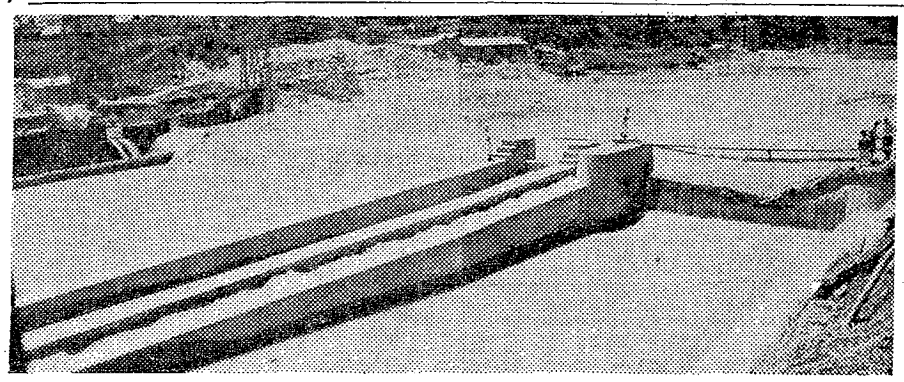
軌道にのった開拓地の営農

入植後十年、筆舌につくし難い苦難の途を歩み続けてきた郡内六カ所の開拓地では、血のにじむような努力がようやく実を結び、成功の曙光を見出して各方面からの注目を浴びている。

終戦直後の混乱時に、海外引揚者や戦災者が当時の緊急開拓政策によって田中、西畑志、安楽川、東畑志、雨山、小倉の各地区に入殖、馴れぬ手に鍬をもって開墾の第一歩を踏み出したのであるが、インフレの為わずかな所金をたちまち使い果し、漸くの思いで開墾した一反歩に植え付けた甘藷は強度の酸性土壌のため収穫皆無という有様。昼は日蔭さえ出で夜は月明りで開墾するかたわら、野草をつんで食糧の補いにするなど、苦難の日々の連続だった。数人の落伍者の出たのもこの頃である。しかし踏み止った人々が互に励し合い、飢とたたかいながら、豊かにみのる果樹園を頭に描いて頑張り抜いた努力で、昨年に至って報いられ一戸当り開墾面積八反歩、苗木の植付けとともに開墾から営農時代へ移行することができた。

六カ所四十七戸の入殖者は果樹を主体とする有畜農業を目指して、すでに桃四町歩、柿一・八町歩、梨一・五町歩、蜜柑三町歩の植付けを終り乳牛三頭役牛十三頭、山羊六頭、馬一頭にわとり二千羽を飼育するまでになったのである。

ところで他力のない開拓地に肥料を充分に施す資力がなく栽培技術も全くの素人がどうして管理経営していくか、という問題が残されたため、昨年十月から那賀農地事務所の指導で郡開拓営農促進協議会を結成、農業技術の研究にのり出した。この結果、試験的に大阪中央市場と契約し、田茨の途もかくて努力が実を結び、大阪市場進出を契期として開拓地の今後に明るい希望がもたれているのである。



共同防除を徹底

タマネギのベト病対策

玉ネギ採種の本場として全国にその名を知られ、また水田裏作として七〇〇町歩におよぶ本郡の食玉ネギの栽培は、農家の経済を大きく左右する重要な作物だが、昨年来急激にまんえん発生してきたベト病は、ことしに入って特に猛威をふるって、郡内一万二千の農家に大きな被害を与えるに至った。

地方事務所経済課では農業改良普及員とともに、こんどの防除対策について座談会を開き、ベト病防除については今のところ決定的な方法がない、現地指導は慎重におこない、部分的な結果から全般を即断することのないようにしたいと結論を出したが、つぎのような意見がいままでの体験から語られた。

◇共同防除の徹底。◇早まきと早期収穫。種子消毒、苗床の薬剤撒布など第一次発生を徹底的に防除。◇本圃は二一三月頃罹病個体を除去する。◇薬剤はダイセーンが最も効果大で薬害なし。◇排水通風日照など条件のよい地を選び小麦などの遮へい的効果のある作物を作る。◇撒布器具および撒布方法の改善により薬剤がよく附着するようにする

推進方針を討議

前号既報のとおり郡内の新生活運動は着々実践への歩みを続けているが、去る七月十一日地方事務所で各町村新生活建設運動推進委員会事務局長会議を開催本年度の推進方針について熱心に討議した

貴志川 頭首工完成で 生命の水溢る

三日間で田植終了

耕地区画整理によってうつくしく復旧した貴志川耕地に、いままた給水源として永久井堰が完成した。

貴志川工事事務所では昨年十二月末に着工してから六月の植付期を目標に突貫工事を進めていたが、予定どおり去る六月二十三日、一部の附帯工事を残しただけで完成、通水式をあげた。

この日、耕起作業もおわり田植の態勢をとっていた沿岸二五〇町歩の水田は、どっとあふれたカンガイ用水に上流下流の区別なく、一・六㍍の巾、深さ〇・九㍍の幹線用水路に、また小用水路にとうとうたる水流は地元民の歓呼にこたえるごとく水音を立てて流れ、わずか三日間でほとんど植付けをおえた。

この頭首工は総工費九〇〇〇万円、左岸から一〇㍍は土砂吐として藤巻式自動堰がとりつけられ、水量によって開閉が自動的に調整されるしかけとなっており、つづいて一・五㍍の急道、三㍍の流筏路、残りの右岸へ六四㍍は本堰、高さは二・二㍍でどんなカンバツにも大丈夫だ。

また両岸とも水位とにらみあわせ、山を貫いて隧道を作っているが、左岸が一七七㍍、右岸一二二㍍、円高一・七㍍、巾一・五㍍で、本流よりの取水口も設けられ、いまさかんに送水している。【写真は完成し通水中の貴志川頭首工】

人事異動

県では土木出張所を強化するために次長制を設け、これに伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係はつぎのとおり

(カッコ内担任)

▼岩出土木出張次長へ間富士夫(県庶務課島県財産係長)▼同廉務課長へ坂本喜代治(日高地事所)▼岩出出納分室長へ岡本浅次(岩出保健所次長)▼岩出保健所次長へ三木清久(県税務課長代理)▼那賀地方事務所民生課長へ山東芳一(岩出土木庶務課長)▼県農政課農業協同組合係長へ龍野鉄三郎(岩出出納分室長)▼日高地方事務所民生課長へ中岡彦平(那賀地事所民生課長)

郡民の声

精神薄弱者の救済を

最近、社会保障が高くとり上げられつつあるのは嬉しい。粉河町にある養老施設白水園に、五〇余名が何のくったくも不安もなく嬉々として余生を楽しんでいる。また生活環境が悪く幼児の保育に欠ける母子家庭のために母子寮ができた。生活保護が充実して物貰いのみじめな姿もみられなくなった。こう考えてくると社会保障の進展はいかに社会を明るくしているかがわかる。

ところで、一つ取残されている人がいる。どこの村でも町でも必ず二人や三人みうけられる、いわゆる精神薄弱者である。彼らは現在精神医学界から見放された一種の精神症者である。自己まったは他人を傷つける分裂症のひどいものは公費で精神病院にでも入院できるだろうが、それ以外の軽神経病患者や薄弱者などは放任されている。彼らは他の雑よりも社会での生存競争に耐えられない弱者である。只彼らは極小数の近隣からあわれみの目でみられているだけで、とりわけ彼らを肉親にもつ人々はより深い愛憐を感じながらもどうすることもできない現状である。

ここに私は希う。彼らの生活を保障し彼らのもつ能力に応じての職業補導と人生の慰安をあたえて生甲斐を体得せしめる精神薄施設の設置拡充を図って頂きたいことを。

幸い児童のこの種の施設ができて光明をもたらしているが大人の精神薄施設についての関心はまだ薄いのではないか。郡としても県としても真剣にとり上げてもらいたい問題である。(光)

在ソ同胞に慰問品を!

喜ばれる日本色豊かなもの

五㍍の急道、三㍍の流筏路、残りの右岸へ六四㍍は本堰、高さは二・二㍍でどんなカンバツにも大丈夫だ。

また両岸とも水位とにらみあわせ、山を貫いて隧道を作っている。

ソ連抑留者の第三次帰還者は去る四月十八日興安丸で舞鶴に上陸、なつかしい故国の土をふんだが、これらの人々によって在ソ同胞が心身ともに疲労し体力が低下していると判明した。

ソ連の発表で本県出身抑留者が十四名となっているがまだまだ多くの人がいるものとみられ、在ソ同胞を救出するための国民運動が近く行われ大々的なカンパを起すこととなっている。

県では本県出身ソ連地域抑留者に対し、つぎの要領で慰問品を送ることになり民間団体、県民の協力を求めている。

◇抑留者の収容所郵函番号がわかっておればローマ字で本人の氏名を明記郵送する。

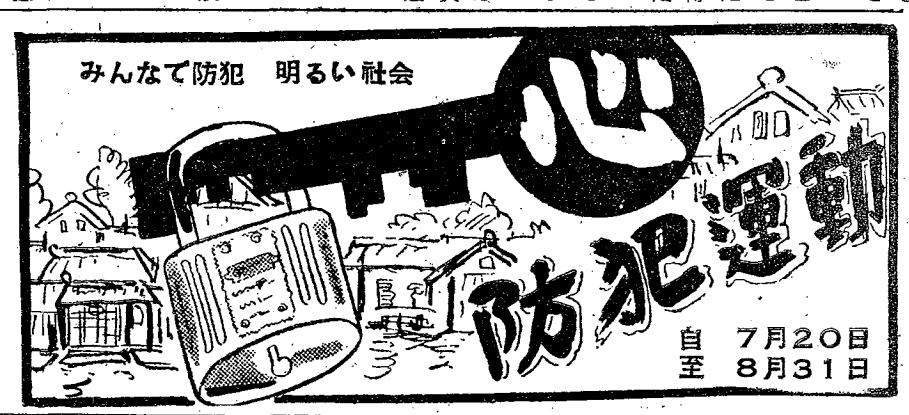
◇日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品を主に選ぶ。例―粉みそ、粉しょう油、鰹節、かん詰、海草類、茶、豆類、飴、せんべい、たばこ、(葉巻二五本、紙巻二〇〇本きざみ二二〇グラム)干魚、防寒下着、手芸品、娯楽品(トランプは不可)禁止品書籍新聞など印刷物酒類、薬品、刃物。

◇長途の輸送に耐えるため、木枠、厚紙箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと。

◇個数に制限なし。1m×20cm×30cmの大きさ、五㌔以内は無料。

◇送る時税関告知書送状を必要とし、小包集配局で無料進呈民間諸団体、篤志家の寄贈金品の受付は県民生部厚生課、地方事務所民生課、市厚生課、日赤支部で扱う。また個人で送った場合は内容、宛人、送人名を県厚生課へ連絡のこと。

疑問は県市厚生課、地方事務所、郵便局外国郵便小包係へ



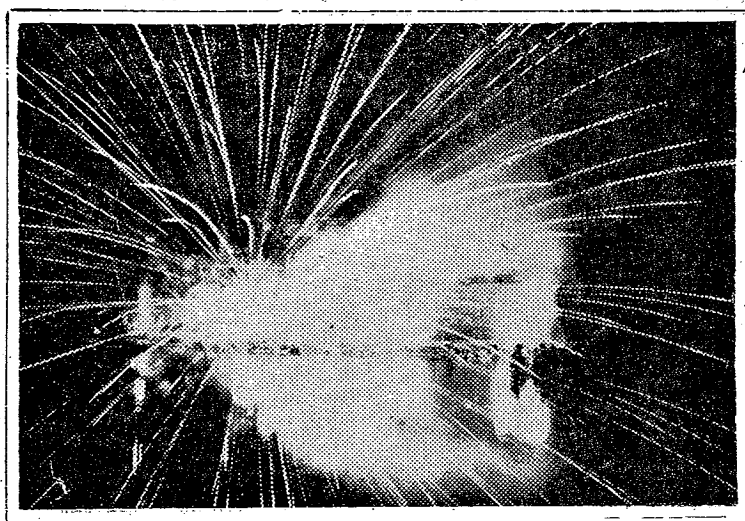
伊都橋本版

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見栄
すてて明るい
衣食住

朝晩響く健康の鐘

新生活運動 〝夏の陣〟を展開

前号既報のとおり、地方事務所では七月に引続いて今月を〝夏の健康強調月間〟とし、特に蚊とハエのいない生活建設、夏期栄養の摂取、早寝早起の励行をとり上げ〝中元贈答の廃止〟とともに、町村新生活の建設推進委員会と歩調をそろえて推進にのり出している。



蚊とハエの駆除

蚊とハエのいない生活の実現は今まで大きな夢物語とされていたが、みんなで協力して計画をたて、組織的な活動を続けた結果は決して夢ではなく、蚊やハエがいなくなるばかりか、生産の向上や家計の節約など、予想外の副産物的効果のあらわれることが各地で実証された。このためには計画的な地域社会の組織活動が基盤となるが、まず誰もがすぐに実行できる身近な問題から取りあげて、推進への基礎を固めることになった。

①大掃除の徹底
②手洗いの実行
③蓋付ゴミ箱の設置
④便所の改善
⑤下水の清掃
⑥水たまりの除去
⑦畜舎の補修

の七項目で、これらは日常生活で少しの注意と労力で実行できるものばかりである。部落実践会や婦人会、青年団の積極的な活動が期待される。

早寝早起

生活態度の改善と青少年不良化防止に手取り早く役立つ早寝早起の習慣をつけるため、橋本市と伊都郡全域にわたって朝は五時三十分、夜は十時にサイレンや鐘で合図しているが、さらにラジオ体操や朝の奉仕の設定が望まれている。

栄養の摂取

夏の健康を維持するには食生活に細心の注意と努力が必要で、美味しく食べさせることも大切だが、さらに一歩すすめて栄養ということを第一に考えなければならない。そこで

①油脂源の摂取
②緑黄野菜の摂取
③蛋白質の摂取

の三つに重点をおくとともに、過剰の常食廃止をも徹底的に呼びかけている。

中元贈答廃止

虚礼の廃止が新生活の建設運動の最も大きな目的の一つである以上、中元の贈答廃止はきわめて当然のことといえる。このような無意味な習慣を改めるためには、郡(市)民の一人一人が一斉に自戒しなければいつまでたっても解決できないから、この点を特に注意して贈答廃止はもちろん、暑中見舞の抑制、盆行事の簡素純正化にも努力していきたい。

恒例の紀北名物紀の川祭は八月十五日から三日間おこなわれるが、特に今年は新生橋本市の市制施行祝賀式典をかねて、盛り沢山な企画のもとに準備をすすめており、関係者の熱も大きな目的の一つである。

市制を記念して 紀の川祭

十五日から

は紀の川祭を関西屈指の大祭典にしようと大わらわで、中でも〝景気なおし〟百万円の大花火〟と銘うつ大規模な仕掛花火が前人気を呼んでいる。催し物は三日間を通して打上花火、花火六六〇発(昼夜)仕掛花火一五基、NHK、NJBABC、四国放送の放送芸能競演、ミス橋本および橋本音頭の発表、地蔵流し、物産と観光写真展、農機具展示即売会、野外映画会、サーカスなどさまざま。紀の川原に第一会場に、橋本小学校と教育会館を第二、第三会場にあてる計画である。【写真は仕掛け花火】

孫を背に登校

雨の日も風の日も

内田さんの努力続く

おばあさんが小児マヒで半身不随となった孫を背負って一日も休まずに登校、こどもたちにまじって仲よく勉強しているという涙ぐましくも明るい話題…伊都町大谷、内田なみえさん(57)がその人で、孫の芳一ちゃん(7)を連れて雨の日も風の日も教室に姿をみせないことがない。芳一ちゃんは生後六カ月で小児マヒにかかり、人事をつくした治療もむなしく半身不随となったが、今春四月、教育委員会から小学校入学の通知が届いた。一家は思案にくれたがなみえさんは「みんな楽しく入学するのに、この子だけが学校へ行けないとあっては可愛そうだ。芳一が小学校を卒業するまで送り迎えして、一緒に勉強しよう」と決意、芳一ちゃんはおばあさんの背に負われて大谷小学校に入学した。その後おばあさんと一緒の授業がはじまったが、うれしくもまた明るい話題である。

新町村めぐり

特殊企業の町

＝高野口町の巻＝

オサの音に明けオサの音に暮れる紀北随一の活気ある町大高野口は、応其信太を合併して四月十五日発足した。人口一万五千、戸数三千五百の名実ともに郡内第一の町である。

新興「高野口」の名はシールの名とともに外国にまで知れわたり、内需はもちろん、外国からも注文が殺到、四十にのぼる織物工場の設備織機合数は年々増加の一途をたどりつゝある。これに平行する染色工場も十指を数え、これらの繊維工業に従事する人達が隣接市町村から集って高野口町の商工業を形成している。また高野材利用の木材工業も盛んで、建築用材、木製品、木綿工業は紀北では和歌山市に次ぐ地位を占めており、最近発達した家内工業の人造真珠が県内第二の生産地として輸出の一役を担っていることも見逃せない。農業では都内最大の平野応其合地があり、北部の肥沃な緩傾斜地は果樹園芸の好適地として日夜技術の研究につとめている。

今後の発展については、交通、網の整備拡充による産業の振興に併せて、社会福祉の充実へ大きい計画を樹てているが、町長森田秀雄氏は

総工費六億七千万円にのぼる新町建設計画の核心は、高野口駅前向島線および九度山橋名古曽線の高野口都市計画重要幹線道路と信太地区巡環道路の早期完成でこれらの幹線を横に結ぶ肋骨線を入れて上水道を通じると理想的な商工都市が実現する。都市形成に必要な教育施設、社会施設を織り込みながら、だんだん実現していく考えで新町建設の推進力は町民和合の協力である。

と理想的な商工都市の建設への抱負を語っている。

【写真は森田町長】

在ソ同胞に慰問品を！

喜ばれる日本色豊かなもの

ソ連抑留者の第三次帰還者は去る四月十八日興安丸で舞鶴に上陸、なつかしい故国の土をふんだが、これらの人々によって在ソ同胞が心身ともに疲労し体力が低下していると判明した。ソ連の発表で本県出身抑留者が十四名となっているがまだまだ多くの人がいるものとみられ、在ソ同胞を救出するための国民運動が近く行われ大々的なカンパを起すこととなっている。県では本県出身ソ連地域抑留者に対し、つぎの要領で慰問品を送ることになり民間団体や一般県民の協力を求めている。

◇抑留者の収容所郵函番号がわかっておればローマ字で本人の氏名を明記郵送する。

◇日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品を主に選ぶ。例―粉みそ、粉しょう油、鰹節、かん詰、海草類、茶、豆類、飴、せんべい、たばこ、(葉巻二五本、紙巻二〇〇本きざみ二〇〇グラム)干魚、防寒下着、手芸品、娯楽品(トランプは不可)禁止品は書籍、新聞など印刷物、酒類、薬品、刃物。

◇長途の輸送に耐えるため、木枠、厚紙箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと。

◇個数に制限なし。1m×20cm×30cmの大きさ、五キロ以内は無料。

◇送る時税関告知書送状を必要とし、小包集配局で無料進呈

民間諸団体、篤志家の寄贈金品の受付は県民生部厚生課、地方事務所民生課、市厚生課、日赤支部で扱う。また個人で送った場合は内容、宛人、送人名を県厚生課へ連絡のこと。

疑問は県市厚生課、地方事務所、郵便局外国郵便小包係へ

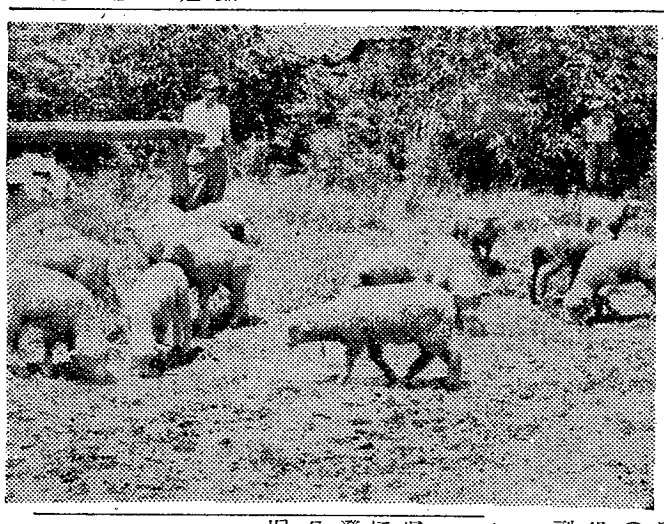
夏休みの注意

夏休み中のこどもには次の点に注意して、体を鍛えよいしつけを身につけて、規則正しい生活をするように補導しよう。

▼生活予定表を作って早寝、早起、ラジオ体操、手洗いなどを励行させる▼日中に戸外で遊ぶときは必ずツバのある帽子をかぶらせる▼毎日午後二時前後に二時間程度の午睡をとらせる▼夜は寝冷えしないように腹巻きをつける▼海や川へ入るときは必ず準備体操をし、続けて長時間入らないこと▼アイスキャンデーなどの氷菓子はできるだけ食べさせないこと

緬羊お輿入れ

衣の自給へ一役買う



新生活運動にとり上げられている「衣食住の工夫と改善」の一環として、地方事務所では緬羊の飼育を奨励しているが、その手始めとして伊都郡畜産農業協同組合連合会が鳥取県から生後三カ月の緬羊八六頭を導入、七月八日高野口駅に着いた。この緬羊は有畜農家創設計画によって紀見農協および応其農協へ各二〇頭、自由購買で天野、花園紀見へ各一〇頭、残りを数カ町村に配分されてそれぞれ農家の手に渡ったが、うまくいけば今秋種付けして来春には仔を得ることができ、約一貫五〇〇の原毛がとれる。

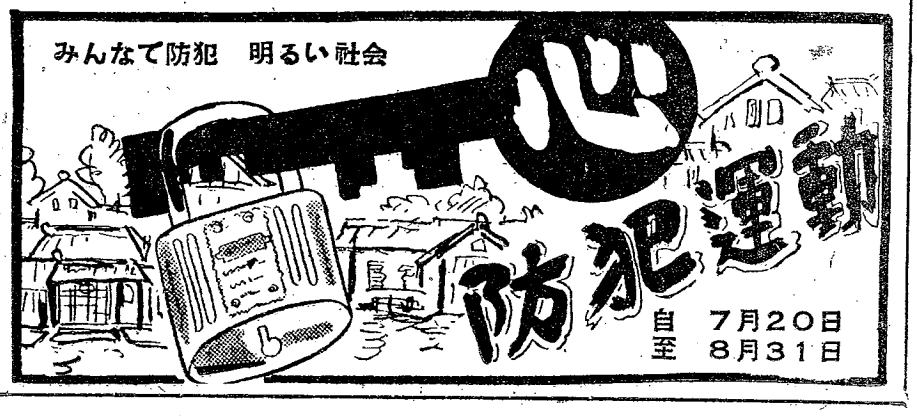
緬羊の採毛量は平均して体重の一割で、原毛は農協を通じて売却することもできるが、毛糸や服地に加工して純毛の自給自足のできることが何よりの魅力。その上二頭で二〇〇貫から三〇〇貫の厩肥がとれ、地力増強に役立つし、婦女子の愛も好適な副業として人気を集めている。

【写真は高野口家畜市場に着いた緬羊の第一陣】

人事異動

県では土木出張所の次長制実施に伴う人事異動を七月七日付で発令したが、そのうち本版関係分は次のとおり。(カッコ内は旧任)

▼橋本土木出張所次長へ木村幹夫(婦人児童課児童福祉係長)▼同庶務課長へ杉本保治(伊都地事所)▼伊都地方事務所税務課長へ森霞(橋本土木出張所庶務課長)▼県税務課第二課税係長へ明渡義胤(伊都地事所税務課長)



有田版

協力こそ成功の鍵
ハエと蚊 撲滅運動を展開

県では〝蚊とハエをなくして住みよい郷土に〟と推進要領を定めて強力に運動を展開しているが（二面所報）、ハエや蚊を徹底的に駆除するには、つぎの四つのことが大切である。

◇昆虫の発生源をなくする◇幼虫（ウジ、ボーフラ）さなぎの駆除◇成虫の駆除◇冬越しの昆虫の駆除。

あまり金がかゝるようでは長続きしない。二番手取りばなく根本的な方法は便所の汲取口を修理改造してハエの入らないようまた、ボーフラがわくような水ためをなくすることだ。これが徹底すると、つまり発生源をなくすることになるので金がかゝらないし身近なところで効果的であるが、すでに発生しているハエの幼虫、サナギは薬品による駆除が必要である。越冬昆虫に成虫かサナギで冬を越すのだから三―四月頃にその場所をよく調べて完全に撲滅したい。昭和二十四年から国でも蚊とハエの撲滅運動にのり出しているが

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見栄 すてて明るい衣食住

まだ目に立つほどの成果が上っていない。

要は人にまかせず、みんなが力を合わせて根気よく計画を実行することだ。

違反のとき、罐詰を持って行くが外国では空になった小さい罐でも、捨てるときにはきまって水のたまらぬよう切り口を下にして捨てるとのこと。

われわれも家畜の健康を破かいする蚊やハエを、みんなの力で追放し、より楽しく夏をすごそうではないか。

山は招く!! 縣・立・公・園・生・石・高・原

在ソ同胞に慰問品を!
喜ばれる日本色豊かな品

県では本県出身のソ連抑留者に慰問品を送ることになり、広く一般県民の協力を求めている。

内容 日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品（粉ミソ、カツオ節、罐詰、茶、餡、煎餅など）たばこ（二〇〇本以内）防寒下着、手袋品、碁将棋など

禁止品 背縫、新聞など印刷物、酒類、薬品、刃物

包装 長途の輸送に耐えるため、木箱やボール箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと

大きさ 1m×20cm×30cm以内。五キロまでは無料個数に制限なし。

発送 抑留者の収容所郵便番号がわかっている場合はローマ字で本人の氏名を明記し、税関告知書送状（郵便局にあり）を添えて郵送する。この場合、内容と宛先を県厚生課へ連絡すること。

篤志家の寄贈品は県厚生課、地方事務所（市）民生課、日赤支部で取扱う。

なお、疑問の点は県または地方事務所、市へお問合せ下さい。

会議は定刻に
みんなで時間の励行を

○…新生活運動とともに因習の打破が強く叫ばれているが簡単にできることでありながら、なかなか実行されないものの一つに時間の励行がある地方事務所では昨年九月新生活運動が展開されると同時にこの問題をとりあげ、集会や会議が定刻に開会できるよう各方面へ協力を呼びかけてきたが、結果は未だに満足できるものではない。

○…時間に遅れないように忙しい仕事を半ばで切りあげて会場へ駆けつけても、中は分ランとして二、三人しか来ていない。定刻を過ぎてもみんなが集まらないので会議をはじめることができない。こうして午前中にすむはずの会議が午後まで延びたり、夜の集会では深更から甚だしいのは暁方にまで及んで、時間の無駄が大きいばかりでなく、翌日の仕事にもさしつかえる場合もおこしてある。

○…どんな集会や会議でも定刻までに集る人は大体きまっているものである。会に出席する以上、全部の人が必ず定刻までに集まるだけの責任感をもちたいもの。自分一人が遅れるために多くの人がどれだけ時間を無駄にするかを考えるべきである。会の主催者は、事情さえ許せば多少出席者が少くても、定刻になれば開会するのも一つの方法であろう。

人事異動

県では土木出張所を強化するために次長制を設け、これに伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係はつぎのとおり（カッコ内担任）

▼湯浅土木出張所次長へ藤清保（有田地事所民生課長）▼同庶務課長へ谷所大三（有田川耕地災害復旧事務所）▼有田地方事務所民生課長へ上田俊男（湯浅土木庶務課長）▼同税務課長へ藪内徹男（県税務課）

アッ私の顔が……
〝心の晴着〟糸我で發表会

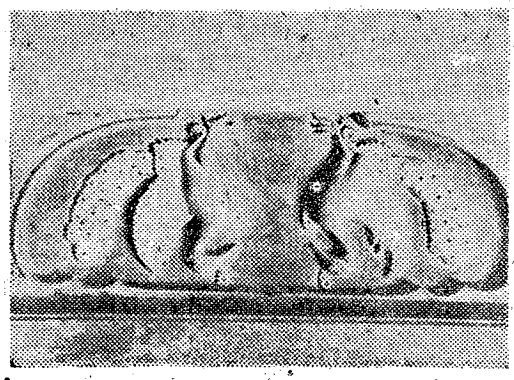
県では七月二〇日午後七時、結婚改善と家族計画をテーマとした県企画の新生活短篇劇映画「心の晴着」を有田町糸我小学校講堂で公開上映した。

観衆は一三〇〇人を突破、さすがの大きな講堂も押すな押すなの盛況。ことにロケーションを糸我でおこなった関係で、「私が出た。」「あの人が映っている」など大さわぎ。

この映画は、県が新生活の建設運動を推進する上に企画、松竹京都撮影所の手で、さる六月初めから有田町糸我および和歌山市で三週間にわたって撮影したもの。

和歌山市では七月十六日盛大に発表会をおこなった。【写真は心の晴着の一場面】

重要文化財めぐり(4)
浄妙寺



浄妙寺は有田町箕島の向う岸安諦橋の南詰から有田川にそって約十丁下り、玄神社の裏山から辰ケ浜へのびる白馬山脈の山麓小豆島にある。

この寺は大同元年（平安時代の初、今から一一五〇年ほど前）平城天皇の母藤原乙牟漏皇太后によって勅願された。

この年にえき病が流行し、五穀も凶作であったため、厄難除除をねがい唐僧如宗禅師が創建したもの。七堂伽藍を設きわめたという。

中世の末（天正年間、西暦一五七三―一五九五）湯浅氏の兵乱で堂塔が焼失、たゞ興の院にあった薬師堂と多宝塔のみ残った。

徳川時代に入って藩祖頼宣が修営（今から三四〇年程前）和歌山吹上寺の圭瑞禅師が中興の人となった。所属は臨済宗（禅）妙心寺派である。古美術品として重要文化財（旧国宝）に指定されているものは建造物二点、彫刻一五点工芸品一点。【写真は須弥壇の一部】

火薬類の取扱は厳重に

いまはさる三月中旬の真夜中、奥有田で父が保管していたダイナマイトを持ち出して、自殺した青年があった。

五月末にもこれと同じケースの事件が西牟婁で起っている。

火薬類取締法で、毎日の火薬類の受払いおよび消費量を明確に記録することとなっているが、規定通り厳重に保管していたらこうした事件も未然に防げたかも知れない。

そのほか、種々の不注意によって負傷や事故死がひんぴんと起っている。使用件数も大災害を契機にぐんと増え、月平均三八件であったものが七四件と二倍に飛躍。以上のように火薬の取扱いは増加の一途をたどっているが、不注意によって事故をひき起さないよう、取扱者が法規にしたがい、細心の注意を払うよう要望する。

中元の贈答廃止

新生活建設運動有田郡推進協議会では、去る七月六日に本年度の運動推進方針について協議、時節柄中元の贈答品廃止を申し合わせた。

林業だより

◇苗畑の消毒と除草、追肥◇造林地の下刈除伐、間伐◇採木の支柱結束◇造林の計画

夏休みの注意

夏休み中のこどもにはつぎの点に注意して、体を鍛えよい!つけを身につけて、規則正しい生活をするように補導しましょう。

▼生活予定表を作って早寝、早起、ラジオ体操、手洗いなどを励行させる▼日中に戸外で遊ぶときは必ずツバのある帽子をかぶらせる▼毎日午後二時前後に一時間程度の午睡をとらせる▼夜は寝冷え!ないように腹巻きをつける▼海や川へ入るときは必ず準備体操をし、続けて長時間入らないこと▼アイスキャンデーなどの氷菓子はできるだけ食べさせないこと

柑橘園八月の行事

○摘果
早生温州はできるだけ早く、その他は樹勢に応じて実施。

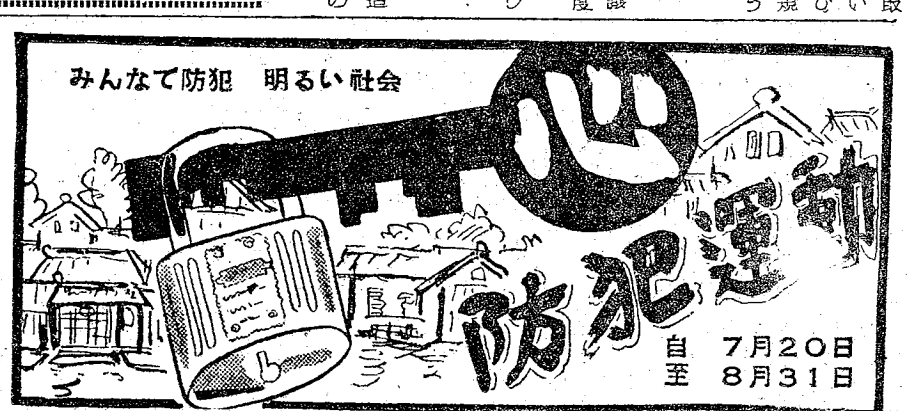
○灌水
天年の旱害防止に努め、敷草する。

○旱害防止
旱害に備える方法としてつぎの事項をあげる。
①抵抗性のある品種を栽植する、または砧木（だいぎ）の使用。
②根群を深く!機能を高める。
③土地の保水をはかる。
④灌水（かんすい）
いずれにしても根群を深くみちびく土壌管理でなければならないが短い年月で効果の表れるものでないからミカン以外の作物からの蒸散量を制限し、応急的には充分灌水する。

○病害防除
天年の駆除は九月までに二―三回よく見廻り、特に主枝にくい入っているのが多いから忘れぬよう。

○アルカリ剤散布
ルビロー中〇・三―〇・三五%液。ダニ類DN乳剤一五〇〇―二〇〇〇倍EDN一〇〇〇―一五〇〇倍。パラチオン剤一八〇〇―二〇〇〇倍。サビダニには硫黄合剤一五〇―二〇〇倍。

○苗木の手入れ
芽かきは、その都度おこない、夏稍の伸長は支柱して誘引する。アブラムシの駆除には砒酸鉛、硫酸ニコチン剤を撒布する。



目高御坊版

各地で活潑に実践
新生活運動軌道に乗る

新生活運動が提唱されてからすでに十二カ月、計画の段階から実践の段階に入り各町村や婦人会、青年団、生活改善友の会などが協力で各地共相当の成果をあげている。

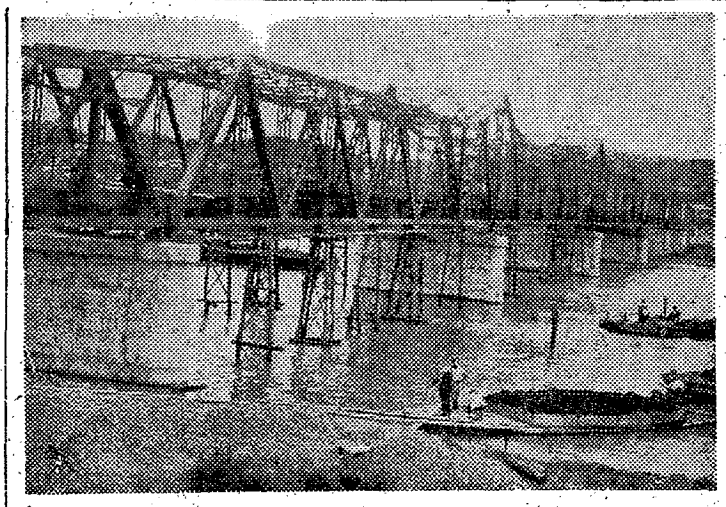
地方事務所では去る六月二十七日各町村新生活推進委員会事務局長会議を開催、今後の実践について打合せを行ったが、机上プランに終りがちだったところである各民間団体などが真剣に取りあげるようになり、郡内の新生活運動の実践も相当まとまったものになってきた。

各市町村にはそれぞれの実践項目や実践方法がとりきめられているが、先ず冠婚葬祭の改善では健康診断書の交換、結納金の全廃（川中、旧南部、旧下山路旧上山路）または分相応にする（印南、日高、船着など）ことを実践している。式服の新調、衣裳見せの廃止などは各市町村とも決めており、中には花嫁の角かくしは使用しないように決めた村もある。葬儀の改善には各町村とも香奠返しの全廃を申し合わせ、花輪や山菓子を廃止するなどもうたっている。農山漁村の冠婚葬祭は強い封建色と因習の中に育ち、その改善は未だしの感はあるが、力強いこの盛り上りはやがて完全な実を結ぶことであろう。

殊に郡内の生活改善はすでに相当な成果をもたらしており、かまどの改良や衣、食生活の改善保健衛生など家庭の主婦を中心にして直接台所にひびくだけにその盛り上りは予想以上の実績を挙げている。御坊市塩屋友の会の食改善、日高町志賀部落の台所改善などはすでに県下でも有数の域に達しており、貯蓄面では主婦貯金、月掛貯金、自作農貯蓄などが盛んに行われているほか、龍神、船着ではこぞって貯蓄組合に加入することが申し合せている。

このように新生活運動はもはや空騒ぎではなく、県民一人々々を結ぶ運動へと軌道に乗ってきた感が深い。

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見栄　すてて明るい衣食住



開拓團発展的解体
営農促進へ協同組合を組織

郡内の稲原、切目、川中、矢田南部、志賀、塩屋にあった七つの開拓団が、営農促進と実績向上を念願して開拓団を解体、同時に農業協同組合を組織した。

同開拓団の開拓面積は三六町歩を数え、三十八戸が入植して着々とその実を上げつつあるが、条件の不利な開拓地の営農は、既存農家の経営方式を真似るだけでは経営の安定は期待できないとして、今後有畜農業への転換を促進し、家畜の導入とともに飼料自給施設の整備と知識の向上をはかり、更に果樹栽培による特産物の育成助長のために開拓地特有の営農形態確立に努め、同じような立地条件にある開拓団が大同団結し、協力して今後の営農に処することを目的として協同組合を組織したものである。

なお組合長には旧稲原村開拓団の小林友次郎氏を選任、今後のたゆまざる努力を誓いあった。

栽培技術の向上期し
川辺町　水稲と柑橘の共進会

川辺町青年団では公民館と矢田丹生、早蘇の各農業協同組合の後援を得て、水稲栽培共進会と柑橘栽培共進会を行うことになった。この二つの共進会はそれぞれ新しい審査方法をとり、来年一月に町の農業祭りを開催して、その席上で優秀者を表彰するとともに、農業改良に関する資料の展覧会や体験発表などを行う計画をたてている。

◇水稲共進会
参加資格は三枚以内で一反歩以上の田とし、災害復旧地区、早植地区、一般地区の三つに分けて予備調査と本調査を行う。審査参加書類として植付後の管理日誌の提出を求めるが、優秀な管理方法はパンフレットにして配付し、一般農家の参考に供する計画もたてている。

◇柑橘共進会
耕作面積の大小にかかわらず町内の全耕作者を対象として実施する。農業改良普及員の技術指導を受けて定期的に全耕作地を検査し、耕作者の今後の技術向上に資するために優秀な耕作地をモデル園として指定する。

このように、農村青年がその組織を生かして計画を実施するところに大きな意義があり、関係方面から注目されている。

橋田天井橋竣工近い
通行は九月中旬の予定

七・一八水害で流失した国道和歌山松阪線（旧四十一号線）の要点天田橋は、既報のとおり鉄製仮橋を架設して本工事を急いでいるがすでに上部、下部ともその骨組みを完成、残る工事はコンクリートの敷設だけとなった。

この本橋は総工費一億四千万円の予算で着工されたもので、延長は水害前より二〇尺伸びて三〇四尺八分の有効巾員は県内でも屈指のもの。九月中旬から通行できる予定で、現在朱色に下塗りされている高欄も更に銀色に塗装される。

また両岸の日高川堤防も殆んど完成しており、左岸の昭和橋を含むこの工事が全般的に完成すれば、流失後二年で全く面目を一新することになり地元民に安堵感を与えるとともに、喜びのうちに完成の日が待たれている。

上田次長急逝

去る五月二十日の人事異動で日高地方事務所次長に就任した上田政雄氏は、七月八日任僅か四十日で急病のため死去した。同氏の次長就任は山本新所長の好女房役として大きな期待をよせられていただけに、この突然の死去は各方面から痛く惜しまれている。

故上田氏は農事試験場勤務を皮切りに、青年学校や国民学校の教員を経て昭和十八年日高地方事務所へ入り、二十五年六月経済課長に就任、その円満な人格と手腕は広く郡内外から敬慕されていた。【写真は故上田次長】

友の会連絡会議
日高町志賀支所で開催

本年度の第二回生活改善友の会郡市連絡会議は、七月一日日高町志賀支所会議室で開催された。

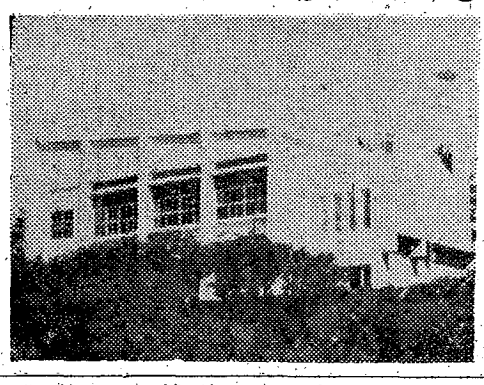
当日の参集者は各郡の会長、副会長、生活改善普及員ら三十余名、県及び地方事務所からも係員が出席して、午前中は本年度の事業計画、友の会の育成などについて検討した後志賀、白井両部落の改善台所、改良便所を見学。午後は中志賀友の会の例会を見学した後、共同炊事の反省と粉食奨励について活発に意見を交換した。

夏休みの注意

夏休み中のこどもにはつぎの点に注意して、体を鍛えよいしつけが身につけて、規則正しい生活をするように補導しましょう。

▼生活予定表を作って早寝、早起、ラジオ体操、手洗いなどを励行させる▼日中に戸外で遊ぶときは必ずツバのある帽子をかぶらせる▼毎日午後二時前後に一時間程度の午睡をとらせる▼夜は寝冷えしないように腹巻きをつける▼海や川へ入るときは必ず準備体操をし、続けて長時間入らないこと▼アイスキャンデーなどの氷菓子はできるだけ食べさせないこと

第一期工事完成
岩代小学校々舎の改築



【写真は完成した岩代小学校】

岩代地区を眼下に、太平洋を望む琵琶尾ケ岡に建てられた日亜の学舎は地元民の誇りである。

老朽校舎としてかねてから改築を要望されていた岩代小学校々舎は、地元の熱意によってこの程鉄筋で第一期工事が完成したこの校舎は建坪一三三・九坪で工事費一二五〇万円を投じ、本年一月十六日に着工して六月末に竣工したもの。第一期工事分は講堂、理科教室図画教室、準備室、教員室、応接兼校長室、宿直室などで、特に屋上にはスマートな鐘台が高くそびえて異彩をはなっている。

犬の登録と注射
狂犬病予防へ再度実施

狂犬病は非常に怨しい病気で、発病すると絶対助からない上に目もあてられない程悲惨な苦しみ方をして死ぬ病気である。これを撲滅するには野犬をなくすとともに、畜犬は必ず登録して狂犬病の予防注射を受けさせなければならない。ところが、現状ではまだまだ野良犬や予防注射をしない無鑑札犬が横行している。

今年になってから日高地区狂犬病予防普及会が設立され、犬の飼育者の社会的責任と愛犬思想の普及に努めているが、先頃行われた御坊保健所の本年度第一回狂犬病予防注射の成績は、残念ながら芳しいものではなかった。そこで保健所では七月二十日から予防注射の再実施とともに畜犬の登録を行っているが、成績を向上させるために同時に徹底的な野犬狩りを行っているので、郡民の全面的な協力を望んでいる。

人事異動

県では土木出張所を強化するために次長制を設け、これに伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係はつぎのとおり（カッコ内担任）

▼御坊土木出張所次長へ笹尾猛課、地方事務所民生課、市厚生課、日赤支部で扱う。また個人で送った場合は内容、宛人、送人名を県厚生課へ連絡のこと。疑問は県市厚生課、地方事務所、郵便局外国郵便小包係へ（日高地方事務所総務課長）▲同庶務課長へ井淵明（御坊出納分室）▼日高地方事務所民生課長へ中岡彦平（那賀地事所民生課長）▼同経済課長へ坂田二夫（日高地事所）▼岩出土木出張所庶務課長へ坂本喜代治（日高地事所）▼西牟婁農地事務所庶務課長へ野口龍吉（御坊土木庶務課長）

人命救助講習会

去る二十一日から三日間、日赤日高支部主催の人命救助水上安全法講習会が、比井崎中学校で開催された。

本年度から新しく日高観光協会が開設した阿尾の海水浴場開きを記念したもので、講習生は二十余名、講師には日赤和歌山支部の五前主事が出席、三日間にわたり学理と実施について熱心に講習が続けられ、二十三日には日高町消防団員五十名も参加した。

在ソ同胞に慰問品を！
喜ばれる日本色豊かなもの

ソ連抑留者の第三次帰還者は去る四月十八日興安丸で舞鶴に上陸、なつかしい故国の土をふんだが、これらの人々によって在ソ同胞が心身ともに疲労し体力が低下していると判明した。

ソ連の発表で本県出身抑留者が十四名となっているがまだまだ多くの人がいるものとみられ、在ソ同胞を救出するための国民運動が近く行われ大々的なカンパを起すこととなっている。

県では本県出身ソ連地域抑留者に対し、つぎの要領で慰問品を送ることになり民間団体、県民の協力を求めている。

◇抑留者の収容所郵函番号がわかっておればローマ字で本人の氏名を明記郵送する。

◇日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品を主に選ぶ。例―粉みそ、粉しょう油、鰹節、かん詰、海草類、茶・豆類、飴、せんべい、たばこ、（巻巻二五本、紙巻一〇〇本きざみ一二〇グラム）干魚、防寒下着、手套品、婦人品（トランプは不可）禁止品書籍新聞など印刷物酒類、薬品、刃物。

◇長途の輸送に耐えるため、木枠、厚紙箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと。

◇個数に制限なし。1m×20cm×30cmの大きさ、五キロ以内は無料。

◇送る時税関告知書送状を必要とし、小包集配局で無料進呈民間諸団体、篤志家の寄贈金品の受付は県民生部厚生

西牟婁・田辺版

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見榮
すてて明るい
衣食住

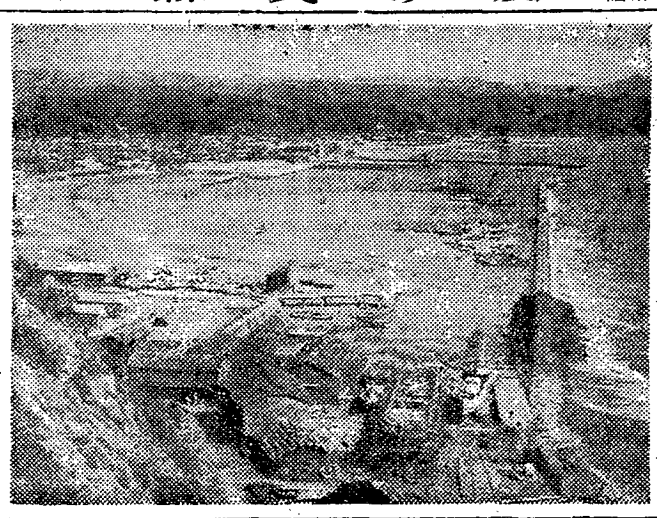
大串本町へ躍進
新町長、町議もきまる

串本節で名高い串本町、潮岬村をはじめ有田、田並、和深の五カ町村が合併して七月二日に発足した新串本町は面積八二方粁、人口二〇二六六人という県下第二の大きな町である。昔から人情、風俗、産業などが大体同じである上に、経済的にも行政的にも接続なつながりをもつていたこの地区が、合併によつてさらに総合的な発展が約束されることになつた。

産業面では昔から水産業の盛んなところで水産加工を含む年産総額は五億円に達しており、合併による農林業を加えて発展への基盤が一層強化されたわけ。

初代町長に川端氏

新串本町の町長、町議選挙は七月十六日に行われ、初代町長には川端四郎氏が当選、また新町議会議員は串本地区から一〇名、潮岬地区から七名、有田地区から二名、田並地区から五名、和深地区から六名、計三〇名がそれぞれ選ばれた。



出生死亡ともに減る
田辺保健所管内人口動態

田辺保健所管内の昭和二十九年度の人口動態統計がまとまつたが、これによると前年度に比べて出生率、死亡率ともに減少している。結果はつぎのとおり。

◇出生　総数は二三五〇人で出生率（人口千人に対する出生者の数）は二〇・八、前年度より減つているが県平均の一七・七よりは高い。

◇死亡　死亡率（人口千人に対する死亡者数）は戦後急速に低下し、昭和二十三年度の一三・四から二十七年度は九・三と下つたが、二十八年は交通事故や自殺が増加して九・九と上昇、二十九年度はやゝ下つて死亡総数一〇七三、死亡率九・五となつている（全国平均は八・二）死亡の原因は老衰と心臓マヒが最も多く、以下結核、脳卒中、先天性弱質、早産、自殺の順である。

◇死産　死産は年々増加し昭和二十六年の死産率（出産千に対する死産の数）八六・八に対して二十八年には一〇五・四、二十九年は一一三・九を示し、全国平均の最高記録である九五・八より遥かに高い。死産総数は三〇二。

◇婚姻と離婚　婚姻件数は八八〇で前年より五件増、離婚は九一件で前年より七件減となつている。

簡素化に重点
田辺市秋津で葬祭改善

田辺市秋津町では新生活の建設運動の一環として葬祭の改善をとりあげ、花輪の廃止、香奠の制限、香奠返しの全廃などを実行しているが、かねてから葬祭部会の懸案となつていた共同葬具の備え付けを実現することとし、六万三千三百余円を投じて葬具一式を購入した。

内容は六方棺式天蓋、棺台、黒白幕二枚、河高ブサ、手籠、位牌、香炉、仏衣、数珠、香、金銀紙、紙花、旗、花、香タツなど一式で、簡素な中にも荘厳さを失わないよう充分に考慮されている。この葬具は農協倉庫内の格納庫に保管しているが、使用したいときは各部落の葬祭部委員に申し出ると、一五〇〇円の使用料で貸与されることになつている。

秋津町の葬祭改善はこれによつてさらに一歩前進したわけで、葬式の経費が従来の三分の一から四分の一で足りるから冗費節約になるばかりでなく、故人の霊をなぐさめ、遺徳をしのぶにふさわしい儀式が町内平等の形で営まれるため、全町民から非常な好評を博している。

人事異動

県では土木出張所を強化するために次長制を設け、これに伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係はつぎのとおり（カツコ内担任）

▼田辺土木出張所次長へ佐竹利彦（牟婁地事所総務課長）▼串本土木出張所次長へ山本千代治（西向出納分室長）▼田辺同庶務課長へ永井彰（西牟婁農地事務所庶務課長）▼西向出納分室長へ山田善夫（海南保健所次長）▼西牟婁農地事務所庶務課長へ野口龍吉（御坊土木庶務課長）▼西牟婁地方事務所総務課長へ新谷健一（民生課長）▼民生課長へ坂本二郎（民生課）

年間七八八件
激増する火薬類の使用

戦後災害の激増および興地開発が進むにつれて、火薬類の消費（使用）は年々増加の一途をたどつており、最近、西牟婁郡および田辺市での使用許可数は二十八年度で七二六件、二十九年度で七八八件となつている。

しかし、それにともない火薬類の災害発生が増加し、本年度で現在まで県内の発生件数は毎月一・五件の割合を示している。火薬類取締法によつて災害発生後、ただちに地方事務所長と警察署に報告しなければならないことになつているが、さる五月鮎川村で発生した件については一カ月以上も過ぎてようやく報告が出たような実情である。火薬類の取扱いに種々の法令違反があると、すべて罰則規定の適用を受けることになつている。この法令の取扱基準によれば全然災害が発生することのないよう詳細にすべての場合を規定しているにもかかわらず、事故が発生することは関係業者の自覚と法の研究不足を物語るものであり、今後の事故防止と発生の際の届出を徹底するよう当局では望んでいる。

広報組織を新設
災害救助対策きまる

年ごとに襲う災害に対し西牟婁地方事務所では新しい救助対策をたてた。地方事務所長を災害救助隊西牟婁支隊長に、郡内各出先機関各団体を網羅して組織を強化、罹災者六千人、罹災戸数一五〇〇戸を想定して活用計画をたてた。

組織のうち、特に企画指導部を設けたのがめだつ。これは災害時の広報活動を行い、民心の動揺を防ごうというもの。また町村の警戒防備を厳重にするとともに、情報の正確と敏速性を重視し、危険状態に瀕した場合、その区域から町村当局に連絡、避難の要不要を通報するため常備連絡員を置くよう各町村に要望している。

第二吊橋完成
工事すすむ安川林道

富里村にある県有林は面積約一六〇〇町歩、蓄積五〇万石で、漸く間伐材を利用できる大きさ（三十年生）に達している。この開発のため県では安川林道の開設に総力をあげ、完成を急いでいるが、この程第二号吊橋が竣工、緑濃い渓間に優雅な色彩を添えている。

瀧の口林道第1期工事終る

森林資源の宝庫奈良県十津川と田辺西牟婁郡を結ぶ県案の十津川住来の一部として、二川村坂泰山国有林の森林軌道二〇粁にかゝる滝の口林道はこの程滝の口橋の竣工で第一段の工事を完了した。

この滝の口橋は総工費三百万円、長さ三二㍍、巾員三㍍半で、これで滝の口林道と既設の果地林道三粁とが結ばれ、栗栖川村有林二十五万石を含めた果無山脈の膨大な森林資源が開発されることになり、いよいよ十津川への第一歩を踏開発み出すことゝなつた。

【写真は完成した滝の口橋附近へ早くも運び出される木材】

延長三二㍍、幅員三・五㍍のこの吊橋は四八〇万円の工費で竣工したもので、これによつて県有林の間伐材はもちろん、その奥地に眠る尨大な資源の開発に役立つことゝなつた。

細心の注意を！
パラチオン剤の取扱い

パラチオンやホリドールなどの有機燐製剤は害虫の駆除にすばらしい効目があり、二、三年前からひろく農村で使われています。しかしパラチオン剤は浸透殺虫剤で人畜にいちじるしい毒性をもち、使用法を間違えると生命の危険をともないますから取扱いに細心の注意を払わねばなりません。殊に八月中の防除作業は、暑さのためともすれば注意力が散漫となつて事故を引き起す原因となります。

田辺病害虫防除所で調査した昨年中のパラチオン剤による事故はつぎのとおりでした。

防除作業による中毒者数は男一四、女六、計二〇名。自殺者は男女各一名。中毒事故のうち一五名が八月中に発生。

パラチオン剤を使用する場合つぎの事柄を必ず守り事故の防止につとめましょう。

1、防除指導員の指導の下で必ず共同防除を行う。
2、撒布田には必ず立入禁止の札を立てる。
3、防除を始める前に防除班員の健康状態を調べ、ふだん体の弱い人、子供、生理日の婦人、疲れのひどい人は作業に従事しない。
4、作業に先だち機具の点検を行い、故障の個所は完全に修理しておく。
5、完全服装にして作業中に服装を乱さない。
6、子供や家畜を作業現場から遠ざける。
7、作業の人員配置に気を配り一人で長時間薬剤撒布をしないよう適当に交替する。
8、食事や喫煙の場合はもちろん、休憩時にも必ず石けんでよく手を洗う。
9、作業後は身体や衣類、機具の洗条を丁寧に行う。
10、事故が発生した場合は指導員の指導に従つて応急処置をとり、ただちに最寄りの医師の手当をうける。

在ソ同胞に慰問品を！
喜ばれる日本色豊かなもの

ソ連抑留者の第三次帰還者は去る四月十八日興安丸で舞鶴に上陸、なつかしい故国の土をふんだが、これらの人々によつて在ソ同胞が心身ともに疲弊し体力が低下していると判明した。

ソ連の発表で本県出身抑留者が十四名となつているがまだまだ多くの人がいるものとみられ、在ソ同胞を救出するための国民運動が近く行われ大々的なカンパを起すこととなつている。

県では本県出身ソ連地域抑留者に対し、つぎの要領で慰問品を送ることになり民間団体や一般県民の協力を求めている。

◇抑留者の収容所郵函番号がわかつておればローマ字で本人の氏名を明記郵送する。

◇日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品を主に選ぶ。例―粉みそ、粉しょう油、鰹節、かん詰、海草類、茶、豆類、飴、せんべい、たばこ、（葉巻二五本、紙巻二〇〇本きざみ二二〇グラム）干魚、防寒下着、手芸品、娯楽品（トランプは不可）禁止品は書籍、新聞など印刷物、酒類、薬品、刃物。

◇長途の輸送に耐えるため、木枠、厚紙箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと。

◇個数に制限なし。1m×20cm×30cmの大きさ、五㌔以内は無料。

◇送る時税関告知書送状を必要とし、小包集配局で無料進呈

民間諸団体、篤志家の寄贈金品の受付は県民生部厚生課、地方事務所民生課、市厚生課、日赤支部で扱う。また個人で送つた場合は内容、宛人、送人名を県厚生課へ連絡のこと。

疑問は県市厚生課、地方事務所、郵便局外国郵便小包係へ

東年要・新宮版

◆衣食住の工夫と改善◆
無駄と見栄　すてて明るい衣食住

水害の永久追放へ
古座川流域　緑化事業近く完成

昭和二十三年度から始められた古座川流域の造林事業は今春でその八〇%が完了、やがては旧に倍する緑の山になって、水害にあえぐ町村民に大きな福音をもたらすことになった。

去る昭和十八年三月十六日、七川村添の川部落に発生した火災は折柄の強風にあふられ、古座川流域の山林九千〇〇町歩を焼き払ったのをはじめ、その後六年間、部分的には再度あるいは四度までも火災に見舞われた。山腹に残る立木も当時の経済事情から殆んど利用されなかったし、植林も全く顧みられず、広大な焼跡が当時の凄惨な状況を物語っていたが、七・五水害には未曽有の災害をひきおこしたことは未だ記憶に新しいところである。

昭和二十三年に至って漸く経済事情の好転とともに、県ではこの対策にのり出し、林種転換をもからみあわせて本格的な造林を開始したが、郡内で苗木の需給が間にあわず、植林開始と同時に優良母樹林を選定して種子を確保する反面、育苗に力を注いで、植林用苗木の完全な自給態勢を確立したことが、この大事業の推進に大きな役割を演じた。

このような努力が実を結んで昭和二十三年度には四五三町歩の造林を完了、現在までに実に六三三七町歩の造林実績をあげ、火災前の針葉樹面積四〇〇〇町歩をはるかに上廻る結果となったもので、六五〇〇万円という多額の造林補助額は、この事業の大きなことを雄弁に物語るに充分であろう。

こうして完成へ近づいている古座川流域の緑化事業は、七川村に建設されている県営防災ダムの竣工と相まって、災害の永久追放を力強く約束しているのである。

四村

県下唯一の硫黄泉湯の峯温泉が四村のすべてを代表する。

その昔、小栗判官兼氏が絶世の美人照手姫とともに不治の難病を癒したという伝説もあって、湯治客の絶えない繁栄ぶりを示し、シーズンともなれば京阪神からの観光客が村内にあふれる。この四月、村営の温泉浴場を開設していよいよ温泉村の名をあげたが、自然の恩恵にめぐまれすぎたか、未だに無医村として取り残されていることがもっとも大きな悩み

町村めぐり

そこで村当局は未点灯部落を解消した現在、村内電話の開設と村営診療所の設置を計画中とある。

こうした施設の拡充をはかると同時に、交通不便のそしりを返上するため、中辺路の改修と川丈道路の開通に期待するところが大きく「白浜―湯の峯―瀞峡の環状観光ルートの完成は、村の発展を画期的なものにするだろう」と語る西村長の顔には、あくまでも観光立村へすすむ決意があふれていた。

【次回は小川村】

〝住みよい村に〟
四村農協婦人部の活躍

四村農業協同組合の婦人部（会員四八六名）では、本年度の事業計画の中に「新生活の建設」を大きくとりあげ、農繁期の食生活の改善と保健、改善結婚の徹底、受胎調節の研究など、新生活の推進は婦人の手でと張切って活動を続けている。この外生活改善の一つとしてカマドの改善に力を注ぎ、一月から既に一〇〇戸が改善を完了しているまたこれの費用に当てるために月掛貯金をはじめ、満一年で一六二万円に達している。

婦人部の運営は、各部落から選出された役員が毎月二十一日に定例会議を開いて行い、また経費は村及び農協の補助育成費と事業収入を当て、会費は徴収していない。

西部長談　婦人のまとまりの中から湧き出る改善の意欲をもとに、住みよい村へ一歩々々地道に進めていき、婦人の社会的地位を向上したい。

第一期工事竣工

三尾川の佐本川林道

県では奥地資源を開発するため林道工事に力を入れているが、その中の一つとして、三尾川村尾井を起点とする佐本川林道の第一期工事、五四七㍍（市量三㍍五〇）が三六〇万円を投じて竣工した。引続いて第二期工事が行われる予定で、全線が開通すれば西牟婁郡佐本村までトラックが通じることになり、十七万石におよぶ木材の搬出に大きな役割をはたすものと期待されている。

成績良好
早植え水稲はやくも黄金色の穂波

旅ゆく人の心に南国情緒の雰囲気を一層かりたてるように、黄金色の穂波がうねる最近の紀南地方は、稲刈りの間近いことを思わせる。

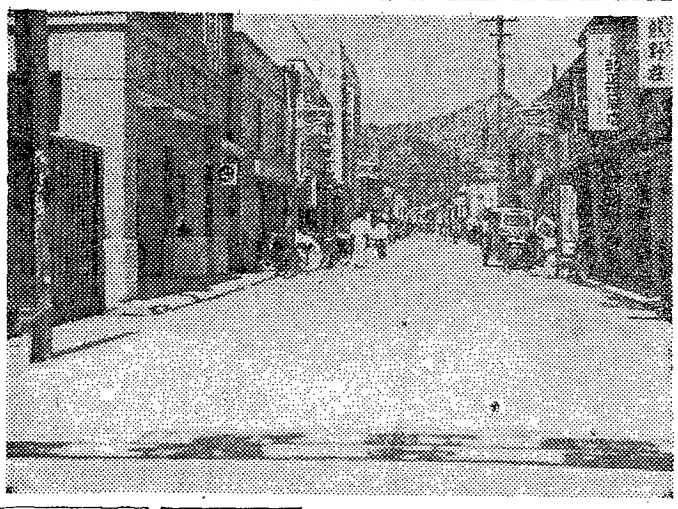
これは毎年のように来襲する台風や二、三化メイ虫などの被害を回避して稲作の安定と向上をはかるため、昭和二十七年度から古座、大島、田原、太田、西向などの海岸町村がおこなっている沿岸暖地水稲特殊栽培で、農林一七号、陸羽一三二号などの極早生品種を三月上旬に保温油紙を使用して播種、八月中に収穫するもの。反当一石五斗から二石の収穫があり、成績もよいので今後ますます増加する傾向にあるが、当地方のように水稲栽培条件のわるい所では、大いに取り入れる必要があろう。そして一歩をすすめ、後地に野菜や花卉の促成栽培とか、地力増強のための飼肥料作物を栽培すれば一石二斗で、農家経済の安定に役立つことと思われる。

【写真は真夏の日ざしを浴びて早くも穂を出した水稲】

部落実践会に重点
新生活運動本年度の方針

昨年九月から始められた新生活の建設運動はいよいよ本格的な実践の段階に入り各町村では推進委員会の組織を強化してめざましい発展ぶりをみせているが、この運動を一層強くに展開するため、本年度は部落実践会の結成、重点をおいて推進することになった。

この部落実践会は、今まで町村単位にとりきめた具体的な項目を実践にうつしていく下部組織で、地域によっていろいろと事情が異るが、もっとも話合いのしやすい、実行のしやすい地域（団体）単位によって作られることが望まれている。



舗装完成
新宮市―新丹鶴町

新宮市が二六八万円の工費を投じて施工していた市員七㍍の市道、新丹鶴町馬町線のコンクリート舗装工事が三十〇㍍にわたって竣工に完成した。

従来一度雨がふれば忽ち泥海と化し、通行く人々に迷惑をかけていたのだけに、市民に大きな喜びをあたえているが、市内にはなお谷王子町や駅前通りにみられるような悪道路が残っているので、新宮市では近く完全舗装を実施すべく計画をすすめており、これらの工事の完成は新宮の一大発展を意味するものとして期待されている

【写真は舗装された新丹鶴町】

慰問品を！
在ソ同胞に

喜ばれる日本色豊かな品

県では本県出身のソ連抑留者に慰問品を送ることになり、広く一般県民の協力を求めている

内容　日本色豊かな腐敗のおそれのない食糧品（粉ミソ、カツオ節、罐詰、茶、飴、煎餅など）たばこ（二〇〇本以内）防寒衣、手芸品、碁将棋など

禁止品　書籍、新聞など印刷物、酒類、薬品、刃物

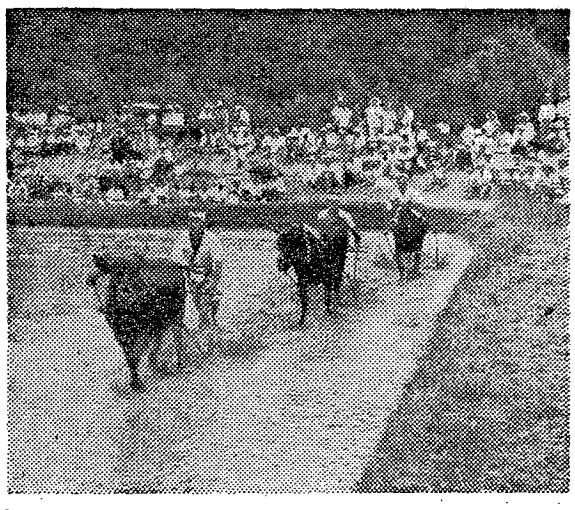
包装　長途の輸送に耐えるため、木箱やボール箱に入れ、その上を必ず白布で包むこと

大きさ　1m×20cm×30cm以内。五キロまでは無料個数に制限なし。

発送　抑留者の収容所郵便番号がわかっている場合はローマ字で本人の氏名を明記し、税関告知書送状（郵便局にあり）を添えて郵送する。この場合、内容と宛先を県厚生課へ連絡すること。

篤志家の寄贈品は県厚生課、地方事務所（市）民生課、日赤支部で取扱う。

なお、疑問の点は県または地方事務所、市へお問合せ下さい。



名物・田かき競牛

東牟婁の名物、田かき競牛は七月三日の田原村を皮切りに太田村、明神村、三尾川村、高池町、那智勝浦町と次々にくりひろげられ、農繁期を済ませた農村の人気をあおっている。

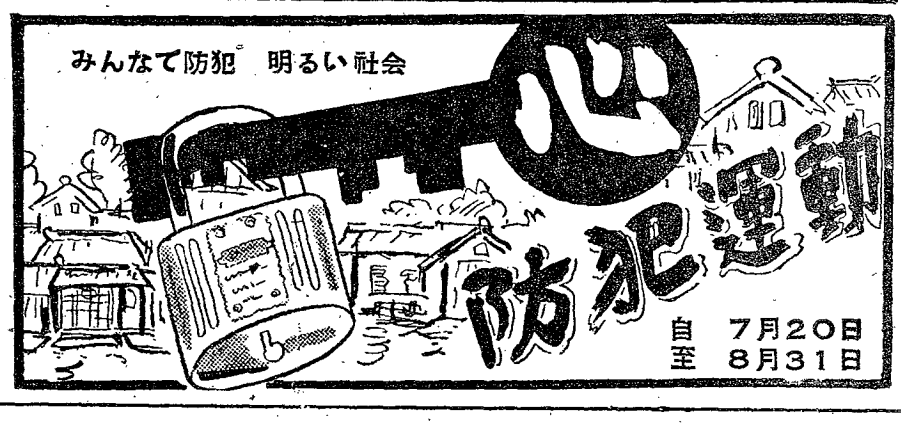
田かき技術の競を競うこの競技は、明治時代に気の荒い牡牛を使って始められたが、今では牝牛にかえられ、さまざまなルールに従って行われるようになったもの。手綱をつんだ馬子がカイガをつけ牛とともに泥水をあびながら田をかけまわる勇壮なゲームは当地方でなければ見られないものである。

人事異動

県では土木出張所次長制に伴う人事異動を七月七日付で発令したが、本版関係は次のとおり。

▼串本土木出張所次長へ山本千代治（西向出納分室長）▼新宮土木出張所次長へ深見七郎（新宮出納分室長）▼西向出納分室長山田義夫（海南保健所次長）▼新宮出納分室長へ中筋通元（県税／県第二課税係長）

貧しい患者の相談役
医療社会事業係の仕事

病気になったとき、利用できる施設や制度があるのを知らない人や、知っていても利用できない人が多い。こうした人々の相談に応じるのが医療社会事業係で、保健所や大きな病院にはこの係がある。係員は患者とその家族の相談役となって病院のあつ旋や紹介などをするほか、この係を設けてある施設では、入院から退院までのすべての面倒をみることになっている。

保健所では毎月三〇―四〇件の相談を受けているが、特に健康保険制度の適用がうけられず、生活保護法による援助もうけられない患者からの相談が多い。苦しい生活の中で病床にあえいでいた人が、係のあっ旋によって入院加療できる機会を得たことを「ともすれば弱い者に風当りが強い昨今、千万人の味方を得たような気持です」とその喜びを語っている。